

EK-6180A

携帯型無線機

操作ガイド

2018年12月

1.0版

目次

1 基本・通信編

- 1-0 凡例
- 1-1 電源の入れ方と切り方
- 1-2 通信モード切替
- 1-3 局番号帳からの呼び出し
- 1-4 リダイヤルからの送信
- 1-5 個別番号で送信
- 1-6 個別番号で送信(通話キーで発信)
- 1-7 通話のタイミング
- 1-8 全グループ通信を受ける
- 1-9 グループ通信を受ける
- 1-10 個別通信を受ける
- 1-11 全グループ一斉通信を受ける
- 1-12 システム一斉通信を受ける
- 1-13 電波状態の確認
- 1-14 音量の調節方法(待ち受け中)
- 1-15 音量の調節方法(通話中)
- 1-16 ユーザを切り替える
- 1-17 制限の表示
- 1-18 予約の表示
- 1-19 通信時限
- 1-20 発呼失敗
- 1-21 相手局圏外
- 1-22 相手局話中
- 1-23 終話表示について
- 1-24 緊急通報を行う
- 1-25 緊急モニタを受ける

2 機能編

- 2-1 セレコールを送信する
- 2-2 セレコールを受信する
- 2-3 メールを送信する
- 2-4 文章を入力する
- 2-5 取消セレコールを送信する
- 2-6 受信メールの履歴を確認する
- 2-7 送信メールの履歴を確認する
- 2-8 局番号帳の詳細情報を確認する

目次

- 2-9 局番号帳の相手先名称を編集する
- 2-10 自ゾーンを切り替える
- 2-11 グループを設定する
- 2-12 状態を設定する
- 2-13 広域ゾーンを設定する
- 2-14 自局情報を確認する
- 2-15 コントラストを調整する
- 2-16 SIM状態を確認する
- 2-17 GPS状態を確認する

3 端末設定編

- 3-1 ミュートを設定する
- 3-2 キーロックを設定する
- 3-3 BluetoothのON/OFFを切り替える
- 3-4 Bluetoothマイクのペアリング
- 3-5 Bluetoothマイクを使用する
- 3-6 Bluetoothマイクの自動接続／休止の切替
- 3-7 Bluetoothマイク情報の削除
- 3-8 Bluetoothデータ端末のペアリング

- 3-9 Bluetoothデータ端末情報の削除
- 3-10 エコモードを設定する
- 3-11 音声ガイダンスを設定する

4 保守編

- 4-1 ソフトウェアを更新する
- 4-2 ソフトウェアバージョンを確認する
- 4-3 e+発呼モードを設定する
- 4-4 e+発呼モードを確認する
- 4-5 Bluetoothモジュールの状態を確認する

5 付録

- 5-1 用語解説
- 5-2 桁数・件数一覧
- 5-3 鳴音一覧
- 5-4 音声ガイダンス一覧

1 基本・通信編



①電源ボタン

・下記の表示は、LEDの状態を表します

緑 : 緑点灯

緑 : 緑点滅

赤 : 赤点灯

赤 : 赤点滅

橙 : 橙点灯

橙 : 橙点滅

消 : 消灯

・○数字は、図上のボタンを示します。

・各章のポイントに記載しています。

・画面遷移のショートカットに記載しています。

・（ ）表示は、（ピッ）など鳴音を表します。

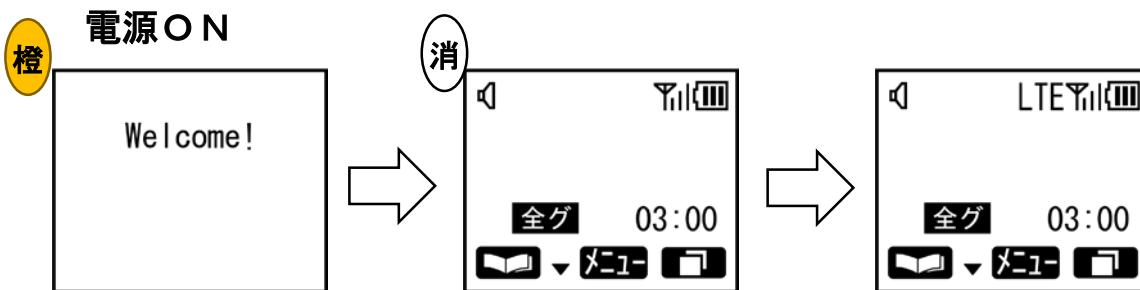
1-1 電源の入れ方と切り方

[通常操作]

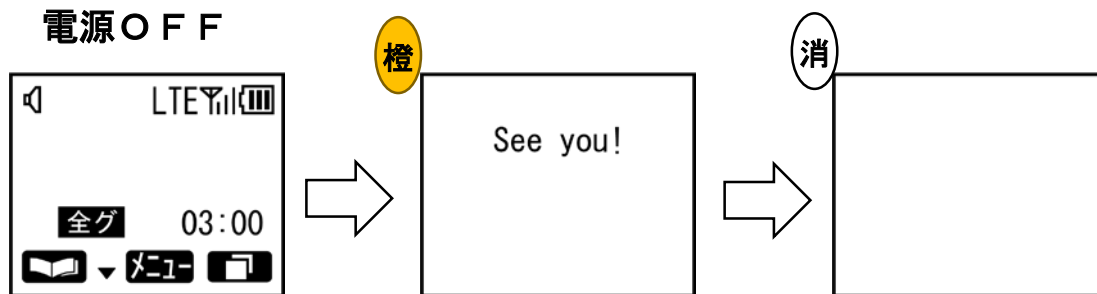
- [入れ方] 電源を入れる場合は、赤い①電源ボタンを長押ししてください。（ピッ）と音がします。
- [切り方] 電源を切る場合は、赤い①電源ボタンを長押ししてください。（ピッ）と音がして電源が切れます。



①電源ボタン



①電源ボタン 長押し
（ピッ）となって初期画面が表示されます。
LTEが圏内捕捉するまで時間がかかります。



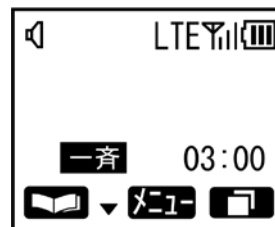
①電源ボタン 長押し
（ピッ）となって終了します。

1-2 通信モード切替

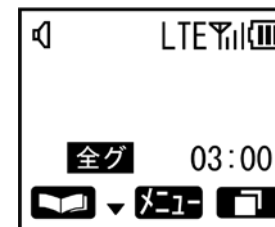
[通常操作]

- ① モードキーを押すことにより、次の通信モードを選択できます。
- 選択可能なモードは無線機の設定により制限されます。

①
モード
キー



一斉通信モード



全グループモード



グループモード



個別モード



電話モード

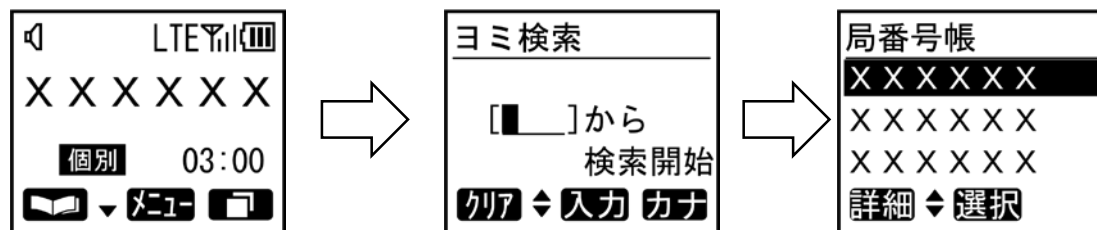
* グループモード、個別モード、電話モードの表示は過去の発呼履歴が表示されます。
表示内容は各無線機の設定により異なります。

1-3 局番号帳からの呼び出し(1)

[通常操作]

- 局番号帳からの呼び出しは、①左ガイドキー、次に中央の②上下キーで相手を選択します。
次に③プレストークスイッチの順番に押ししてください。

③プレストークスイッチ

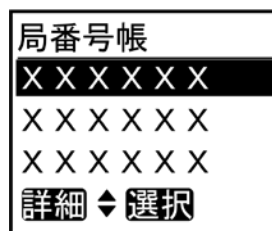


①左ガイドキーを押します。

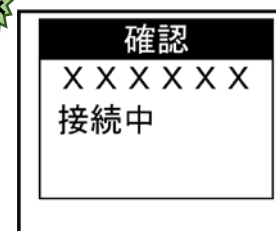
②上下キーを押します。

①左ガイドキー

②上下キー



②上下キーを押すごとに
選択箇所が変わります。



相手先が決定したら
③プレストークスイッチ
で通信してください。

* 表示内容は各無線機の設定により異なります。

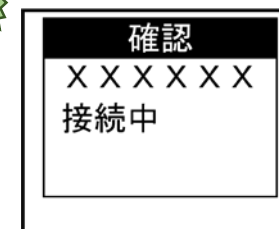
- 局番号帳に登録可能な件数は、最大500 件です。
- 局番号帳には、名称や番号以外にもさまざまな内容が登録されています。内容に関する詳細は、「局番号帳の詳細情報を確認する」を参照してください。

1-4 リダイヤルからの送信

[通常操作]

- 最後に通信した相手が表示されています。
- 表示されている相手と通信をしたい場合は、そのまま①プレストークスイッチを押します。

①プレストークスイッチ



①プレストークスイッチを押すことにより、通信を開始できます。

1-5 個別番号で送信

[通常操作]

- 個別番号で呼び出す場合は、通信モードを個別モードにして、①テンキー、②プレストークスイッチの順に押してください。

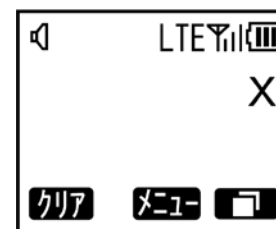
②プレストークスイッチ



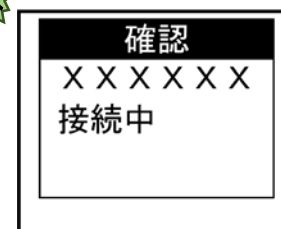
①テンキー



①テンキーにより
相手局の個別番号
を入力します。



②プレストークスイッチ
を押すことにより、
通信を開始できます。



- 個別モード以外が表示されている場合には、モードキーを押して、通信モードを個別モードに切り替えてください。

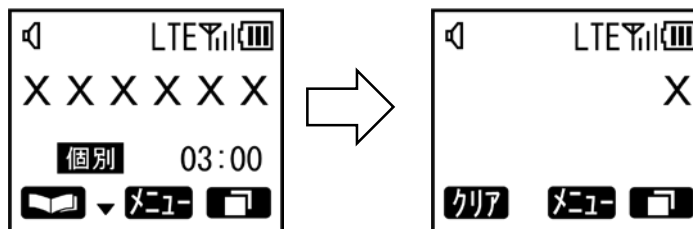
* 表示内容は各無線機の設定により異なります。

1-6 個別番号で送信(通話キーで発信)

[通常操作]

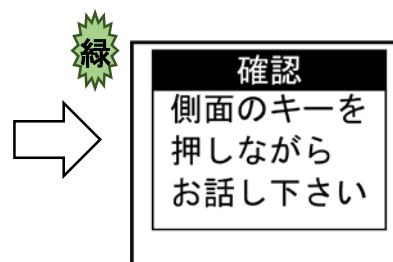
- 個別番号で呼び出す場合は、①テンキー、②通話キーの順に押ししても発信ができます。③プレストークスイッチを押しながらお話しください。

③プレストークスイッチ



①テンキーにより
相手局個別番号
の「X」を入力します。

②通話キーを押すことにより
通信を開始できます。



③プレストークスイッチ
を押しながら
お話しください。



- 個別モード以外が表示されている場合には、モードキーを押して、通信モードを個別モードに切り替えてください。

* 表示内容は各無線機の設定により異なります。

1-7 通話のタイミング

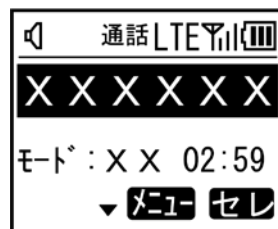
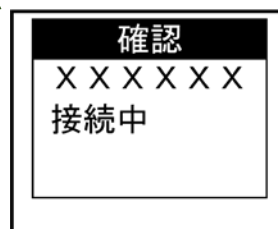
[通常操作]

- 会話の頭切れを防ぐために、①プレストークスイッチを押しながらひと呼吸おいて通話してください。
- 回線接続中に、お互いのプレストークスイッチを押されずに5秒経過すると、終話音となり通信が終了しますので、ご注意ください。

①プレストークスイッチ



緑



(ピーー)
「通話」表示

緑



(ピッ)
①プレストークスイッチを押すと鳴ります。
「送信」表示

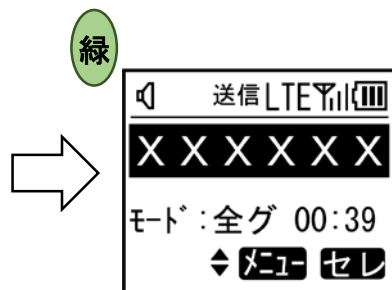
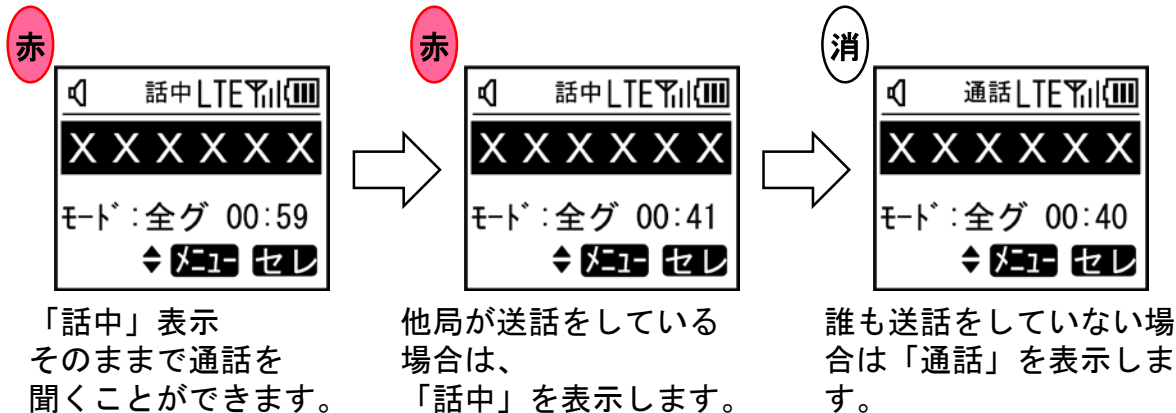
自分が話すときには、①プレストークスイッチを押し続けながら、お話してください。
(XXXXXXXXからXXXXXXXXとれますか、どうぞ) など。

1-8 全グループ通信を受ける

[通常操作]

- 全グループ通信が着信すると、画面が着信を知らせる状態になります。
- 相手局の送話が終了してから、①プレストークスイッチを押しながらお話してください。

①プレストークスイッチ



①プレストークスイッチ
を押しながら
お話してください。

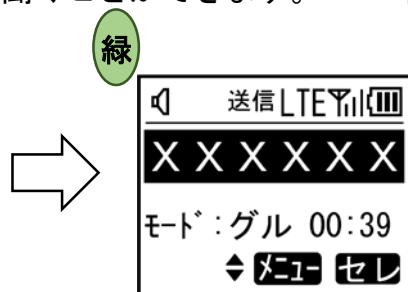
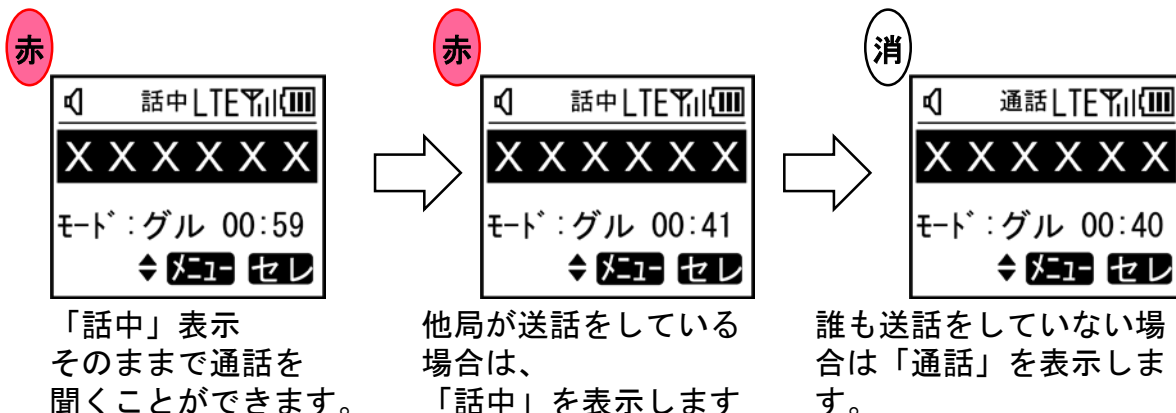
- 全グループ通信は、同一ユーザ内の全局が対象の通信です。
- 全グループ通信では、着信側が電源キーを押すと自局のみが現通信から離脱します。
- 送信権の獲得ができない時は(プップ)という失敗音が鳴ります。

1-9 グループ通信を受ける

[通常操作]

- グループ通信が着信すると、画面が着信を知らせる状態になります。
- 相手局の送話が終了してから、①プレストークスイッチを押しながらお話してください。

①プレストークスイッチ



①プレストークスイッチ
を押しながら
お話してください。

- グループ通信は、同一ユーザ内の
全局を特定のグループに分けて行
う通信です。
- グループ通信では、着信側が電源
キーを押すと自局のみが現通信か
ら離脱します。
- 送信権の獲得ができない時は(プッ
プッ)という失敗音が鳴ります。

1-10 個別通信を受ける

[通常操作]

- 個別通信が着信すると、画面が着信を知らせる状態になります。
- 相手局の送話が終了してから、①プレストークスイッチを押しながらお話してください。

①プレストークスイッチ



赤



(ピッポー)
「話中」表示
そのまま通話を
聞くことができます。

赤



他局が送話をしている
場合は、
「話中」を表示します

消



誰も送話をしていない
場合は「通話」を表示
します。

緑



①プレストークスイッチ
を押しながら
お話してください。

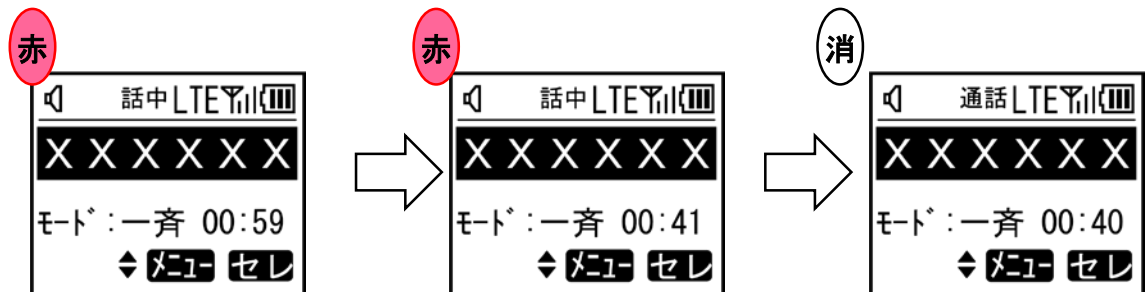
- 個別通信は、1対1で個別に行う通信です。
- 個別通信では、着信側でも電源キーを押して通話を終了できます。
- 送信権の獲得ができない時は(プッポップ)という失敗音が鳴ります。
- Bluetoothマイクを接続した状態で複信通信を行う場合に音量が大きいと、Bluetoothマイクに送話・受話音声が入り込むことがあります。

1-11 全グループ一斉通信を受ける

[通常操作]

- 全グループ一斉通信が着信すると、画面が着信を知らせる状態になります。
- 相手局の送話を終了してから、①プレストークスイッチを押しながらお話ししてください。

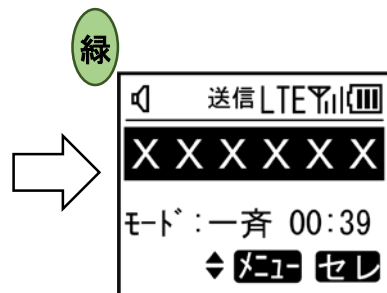
①プレストークスイッチ



(ピーポーピーポー)
「話中」表示
そのまま通話を
聞くことができます。

他局が送話をしている
場合は、
「話中」を表示します。

誰も送話をしていない場
合は「通話」を表示しま
す。



①プレストークスイッチ
を押しながら
お話しください。

- 全グループ一斉通信は、同一ユーザ内の全局の通信を強制的に終了させ、管理移動局から優先的に通話を行う通信です。
- 全グループ通信では、着信側が電源キーを押しても通話を終了することはできません。
- 送信権の獲得に失敗すると(プップツ)という失敗音が鳴ります。

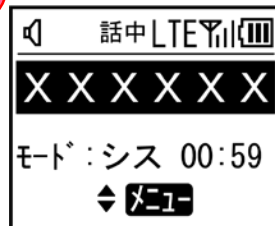
1-12 システム一斉通信を受ける

[通常操作]

- システム一斉通信が着信すると、画面が着信を知らせる状態になります。



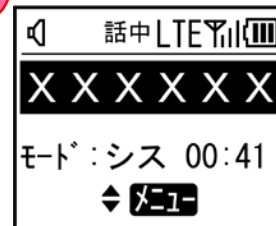
赤



「話中」表示
そのまま通話を
聞くことができます。



赤




中継局からの音声
が聞こえてきます。

- システム一斉通信は、各移動無線センター（中継局）から優先的に通話を行う通信です。
- システム一斉通信では、着信側が電源キーを押しても通話を終了することはできません。
- システム一斉通信中は、自局からの通話は行えません。

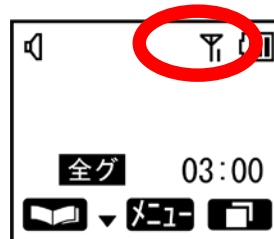
1-13 電波状態の確認

[通常操作]

- 「LTE」の表示がIP通信圏内を表します。
- 「」の表示（アンテナバー）がMCA通信圏内を表します。本数が多いほど、受信電波が強いです。
- 「圏外」と表示されていると通話できません。



MCA通信・IP通信ともにサービスエリア外です。サービスエリア内であっても、建物の影や地下では圏外となる場合があります。



IP通信がサービスエリア外かつ、MCAの電波が非常に不安定な状態です。通信中に（プップッ）という音が鳴って通信が切れる場合があります。



MCA通信・IP通信ともに在圏でMCAの電波は良好です。

「圏外」と表示されている場合は、電波状態の良い場所に移動してください。

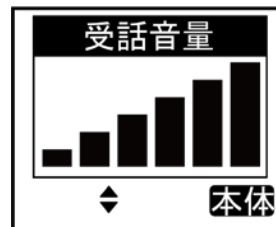
1-14 音量の調節方法(待ち受け中)(1)

[通常操作]

①ロータリースイッチ



- 待ち受け画面で①ロータリースイッチを回すと、受話音量調整画面が表示されます。
- 受話音量調整画面表示中は②上下キーか①ロータリースイッチで音量の調節ができます。



②上キーを押すと音量が上がります。

②下キーを押すと音量が下がります。

①ロータリースイッチを時計回りに回すと音量が上がります。

①ロータリースイッチを反時計回りに回すと音量が下がります。

②上下キー

- 5秒間無操作状態が続くと、待ち受け画面に戻ります。
- 電源を切る前に電池を外してしまうと、音量設定が保存されません。

1-14 音量の調節方法(待ち受け中)(2)

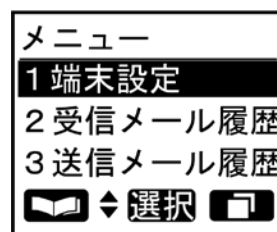
[通常操作]

③ロータリースイッチ



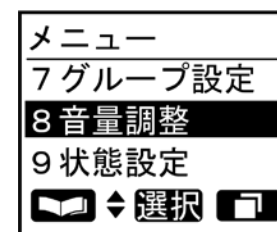
- ①中ガイドキーと②上下キーでも受話音量調整画面に移動できます。
- ②上下キーか③ロータリースイッチで音量の調節ができます。

メニュー画面



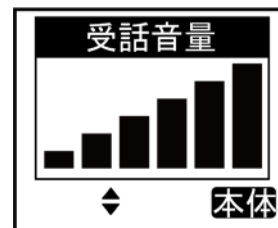
①中ガイドキーを押します。

メニュー画面



②上下キーを押して「8 音量調整」にカーソルを合わせて①中ガイドキーを押します。

メニュー画面上でテンキーの8を押せば、直接音量調整画面へ飛びます。



- ②上キーを押すと音量が上がります。
- ②下キーを押すと音量下がります。

- ③ロータリースイッチを時計回りに回すと音量が上がります。
- ③ロータリースイッチを反時計回りに回すと音量下がります。

- 電源を切る前に電池を外してしまうと、音量設定が保存されません。

1-15 音量の調節方法(通話中)

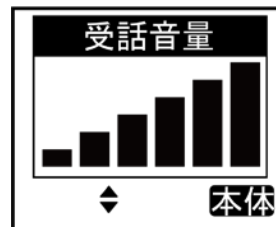
[通常操作]

②ロータリースイッチ



①上下キー

- 通話中に①上下キーを押すか②ロータリースイッチを回すと、受話音量調整画面が表示され、音量の調節ができます。



①上キーを押すと音量が上がります。

①下キーを押すと音量が下がります。

②ロータリースイッチを時計回りに回すと音量が上がります。

②ロータリースイッチを反時計回りに回すと音量が下がります。

- 5秒無操作状態が続くと、通話中画面に戻ります。
- 電源を切る前に電池を外してしまうと、音量設定が保存されません。

1-16 ユーザを切り替える(1)

[通常操作]

- 複数のユーザコードが登録されている場合は、使用するユーザに設定をしてから通信をします。
- ユーザ切替は①中ガイドキーと②上下キーで変更ができます。



- ユーザ切替画面には、ユーザーの名称または番号が表示されます。選択対象となるユーザーの登録可能な件数は、最大24件です。
- ユーザーの切り替えに失敗すると、「ピー」という失敗音が鳴り、「ユーザ設定に失敗しました」というメッセージが表示されます。
- ユーザ設定中は、発着信が行えません。
- 電源を切る前に電池を外してしまうと、設定を保存することができません。
- 自局での変更ではなく、中継局からの移動局情報の更新などにより、運用中にユーザーが自動切り替えされることがあります。その際には、以下のメッセージが表示されます。
 - ① ユーザーの自動変更時：
「注意 ユーザ情報を更新しました」
 - ② 選択中のユーザー抹消時：
「注意 ユーザ切替をして下さい」

- MCA中継局と通信制御装置を結ぶ回線に障害が発生した場合、単一无線モードとなります。
- 単一无線モード中は画面に「制限」が表示されます。
- 単一无線モードでは同じMCA中継局に接続している移動局とのみ通信ができます。



- MCA中継局が単一无線モードにて動作中の場合、画面上に「制限」の文字が表示されます。
- 単一无線モードの場合、中継局内の折返し通信となります。他のMCA中継局への接続やネットワーク通信を利用することはできません。

1-18 予約の表示

[通常操作]

- 全てのチャンネルが使用されている場合に通信を開始すると、予約音が鳴り予約と表示されます。そのままお待ちください。
- チャンネルが空くと自動的に通話チャンネルが割り当てられ、通話指示音(ピピー)が鳴り、通信が始まります。



予約音(ピポパー)が鳴り、予約と表示されます。音声ガイダンスがONの場合、ガイダンス音声(回線が込みあっています)が鳴ります。

(ピピー)
この音がしたら通信が始まりますので操作して下さい。

1-19 通信時限

[通常操作]

- 通信時限は時間帯により異なりますのでご注意ください。（3～5分）
- 通信中は通信時限までの残り時間が表示されます。残り時間が無くなると通信が自動的に切断されます。
続けて通話をしたい場合は再度通信を行ってください。



(ピピー)
通信開始時通信時限のカウント
ダウンが開始されます。



(ピッ)
通信時限10秒前に警告音が鳴り
ます。

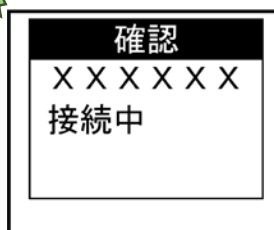


(プー)
通信時限が[00:00]になると、
通信が終了します。

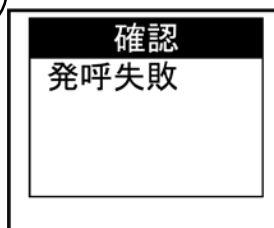
- 発呼先無線機と接続できなかった場合に「発呼失敗」を表示します。何度試行してもこの表示となる場合は、相手の無線機の状態を確認して頂くか、移動無線センターホームページで障害の状況をご確認下さいますようお願いいたします。



緑

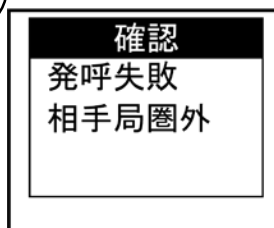
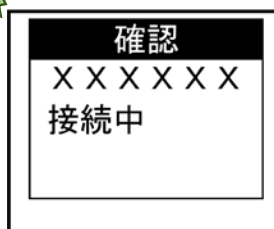


消



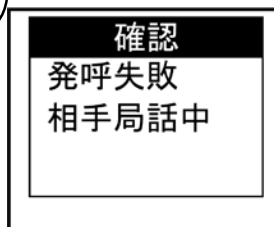
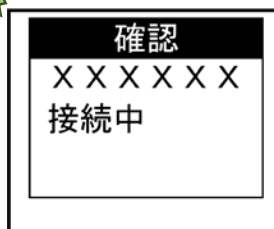
(プップップ)
← I D 番号や、単なる失敗の
場合があります。

- 相手を呼び出した場合に「発呼失敗、相手局圏外」と表示される事があります。この場合は次の事が考えられますのでご確認をお願いします。
 - ① 相手局がエリアに入っていない場合
 - ② 相手局の無線機の電源が入っていない場合
 - ③ 中継局のシステム障害が発生している場合



(プップップ)

- 相手局の無線機が他の無線機と通話中の場合は「発呼失敗、相手局話中」と表示されますので、しばらくたってから接続をしてください。



(ツーツーツー)

- 終話時にIP回線の品質を参考表示します。



確認
終話しました
IP回線
品質良好

品質は良好です。

確認
終話しました
IP回線
品質普通

品質は普通です。

確認
終話しました
IP回線
品質劣化

品質に劣化がみられます。

- MCA回線のみで通信時には、本画面は表示されません。
- MCA回線とIP回線両方でのデュアル通信の場合は、各プレスごとにMCA回線経由音声とIP回線経由音声のうち到着の早いほうを音声再生します。そのため、音声を聞いた感覚と表示される品質には差異がある場合があります。

1-24 緊急通報を行う(1)

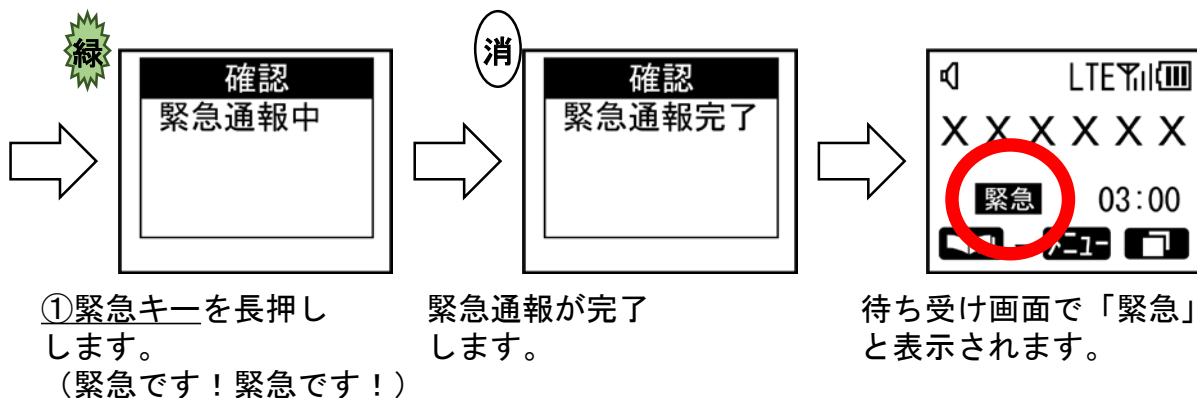
[通常操作]

- ・ 緊急通報は、①緊急キーを長押しして行います。

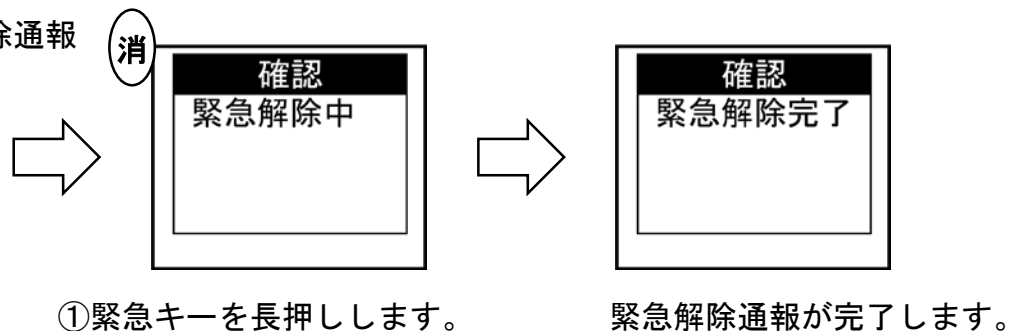


① 緊急キー

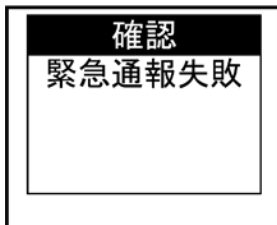
・ 緊急通報



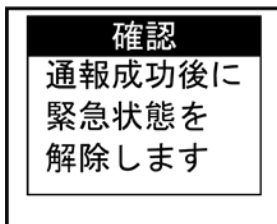
・ 緊急解除通報



- ・ 緊急通報を行うには、サービスの契約が必要です。
- ・ 音声ガイダンスがOFF設定の時には、緊急キーの長押し時に緊急通報音（ピラピラピラピラ）が鳴音します。



- 緊急通報が失敗した場合は「緊急通報失敗」が表示されま
す。しばらくした後に、自動で再通報します。



- 緊急通報が成功していない状態で、緊急状態を解除した場
合には「通報成功後に緊急状態を解除します」が表示され
ます。
この場合は、緊急通報が成功するまで、待ち受け画面では
「解除」が表示されます。



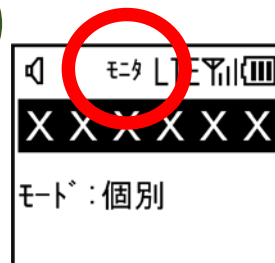
1-25 緊急モニタを受ける

[通常操作]

- ・ 緊急通報は、指令局からの操作で行われます。



緑



「モニタ」が表示されます。

緊急モニタが指令局から行われ、モニタされている端末の音声は指令局に送話されます。
操作は必要ありません。

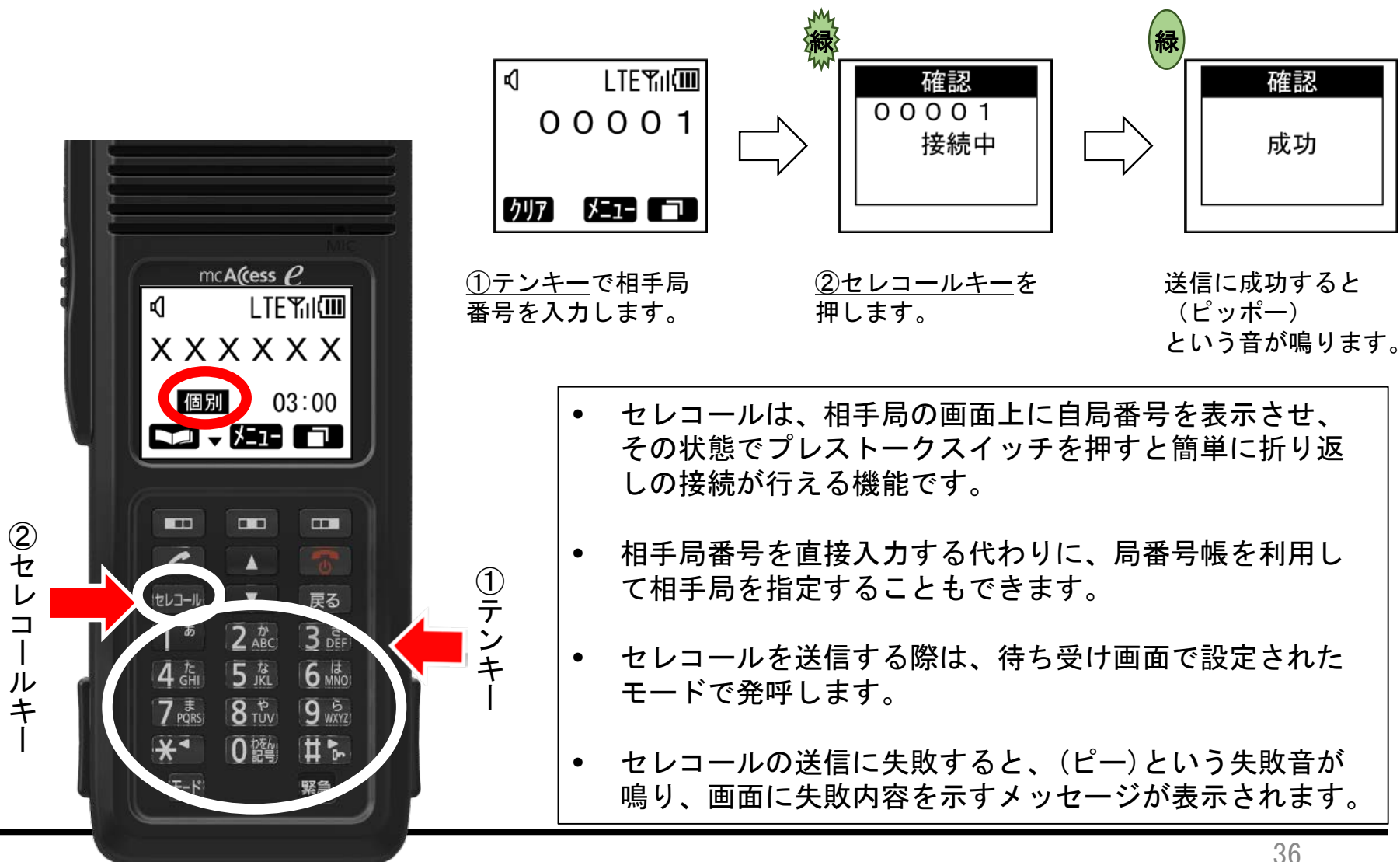
- ・ 緊急モニタを受けるには、サービスの契約が必要です。
- ・ 緊急モニタの受信中には、端末での操作（電源を切るを除く）ができません。

2 機能編

2-1 セレコールを送信する

[通常操作]

- セレコールの送信は、①テンキーで相手局番号を入力し、次に②セレコールキーを押して下さい。



2-2 セレコールを受信する

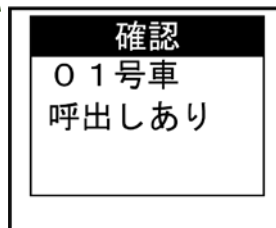
[通常操作]

- セレコールを受信すると、画面が受信を知らせる状態になります。
- ① プレストークスイッチを押して、折り返し発呼してください。

①プレストークスイッチ



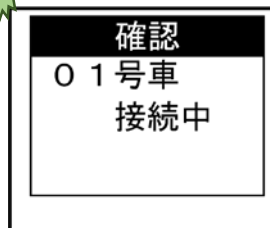
緑



(ピッポー ピッポー
ピッポー)
何らかの操作をするまで、
この画面が持続します。



緑



① プレストークス
イッチを押します。



緑

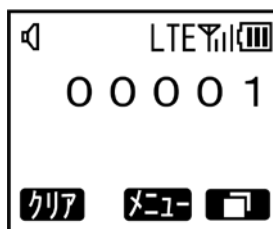


通話が始まります。

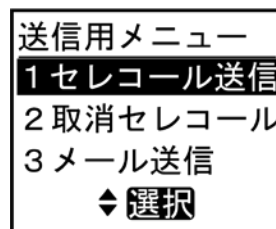
- セレコール受信時のマルチコール鳴動有無は、システム定数「マルチコール鳴動」設定によって決定されます。
- セレコール受信画面が未確認のまま通常画面に戻る際は、その内容が着信履歴に格納されます。

2-3 メールを送信する(1)

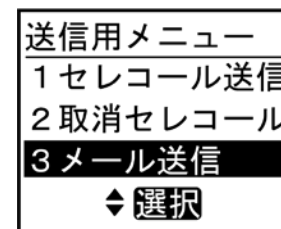
[通常操作]



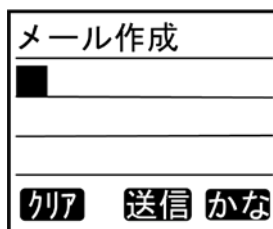
- ①テンキーでメール送信先の局番号を入力します。
- ②中ガイドキー(メニュー)を押します。



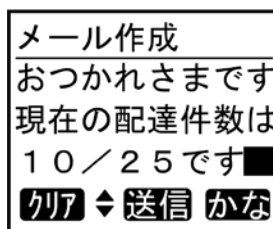
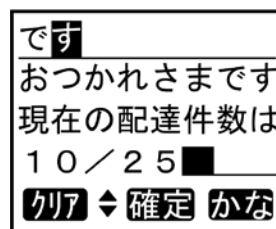
送信用メニューが表示されます。



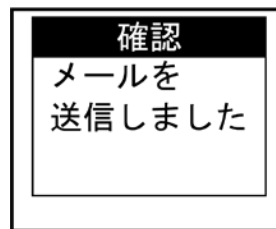
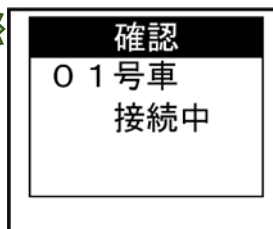
- ③上下キーを押して「3メール送信」にカーソルを合わせます。
- ②中ガイドキー(選択)を押します。



送信したいメールの内容を入力します。入力方法の詳細は「2-4 文章を入力する」を参照してください。



- ①中ガイドキー(送信)を押して送信します。



(ピッポー)
送信成功しました。

- メール作成に関する詳細は、「2-4 文章を入力する」を参照してください。
- メール本文は最大全角24文字（全角8文字×3段）入力することができます。
- 定型文を選択したときに全角24文字を超える場合は、24文字目までを表示します。
- 相手局番号を直接入力する代わりに、局番号帳を利用して相手局を指定することもできます。
局番号帳に関する詳細は、「局番号帳をからの発信」を参照してください。
- メールを送信する際は、待ち受け画面で設定されたモードで発呼します。
- メールの送信に失敗すると、(ピー)という失敗音が鳴り、画面に失敗内容を示すメッセージが表示されます。

2-4 文章を入力する(1)

[通常操作]

- メール作成時と相手先名称編集時の文章入力方法を説明します。

メール作成

■

カ7 送信 かな

相手先名称編集

■

ヨミガナ(12文字)

カ7 ▼ 保存 かな

- 文字入力に関する主なキーは次のとおりです。
- 右ガイドキー：入力モードの切替
- ✳◀ ◻▶：カーソル移動
- 上下キー：変換（かな漢字モード）
検索（定型文モード）
カーソル移動（相手先名称編集時）

- 右ガイドキーで入力モードを切り替えることができます。
モードによりキーの機能が切り替わります。

モード	モード表示	機能	上下キー	テンキー	中ガイドキー (文字入力中)
かな漢字	かな	かな漢字変換により、ひらがなと漢字の入力ができます。 メール作成時のみ使用できます。	漢字変換候補 選択	かな入力	漢字変換確定
カナ	カナ	カタカナを入力できます。	無効	カナ入力	文字確定
英字	英字	アルファベットと記号を入力できます。	無効	英字入力	文字確定
数字	数字	数字を入力できます。	無効	数字入力	文字確定
定型	定型	予め登録された定型文を入力できます。 定型文が登録されていない場合は表示されません。	定型文選択	無効	文字確定

2-4 文章を入力する(2)

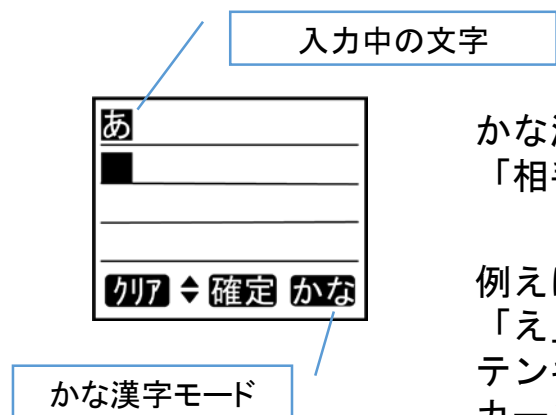
[通常操作]

- テンキーへの文字割付は下表の通りです。

<文字割付一覧>

キー	かな入力	カナ入力	英字入力	数字入力
1 あ	あいうえお あいうえお	アイウエオ アイウエオ		1
2 か ABC	かきくけこ	カキクケコ	A B C a b c	2
3 き DEF	さしすせそ	サシスセソ	D E F d e f	3
4 た GHI	たちつてと	タチツテト	G H I g h i	4
5 な JKL	なにぬねの	ナニヌネノ	J K L j k l	5
6 は MNO	はひふへほ	ハヒフヘホ	M N O m n o	6
7 ま PQRS	まみむめも	マミムメモ	P Q R S p q r s	7
8 や TUV	やゆよやゆよ	ヤユヨヤユヨ	T U V t u v	8
9 ら WXYZ	らりるれろ	ラリルレロ	W X Y Z w x y z	9
0 わん 記号	わをん° -、。 ↓(改行)	ワヲン° -、。 ↓(改行)	- ! ? : () % & ¥ +, / * # >	0

- かな漢字モードの操作について説明します。



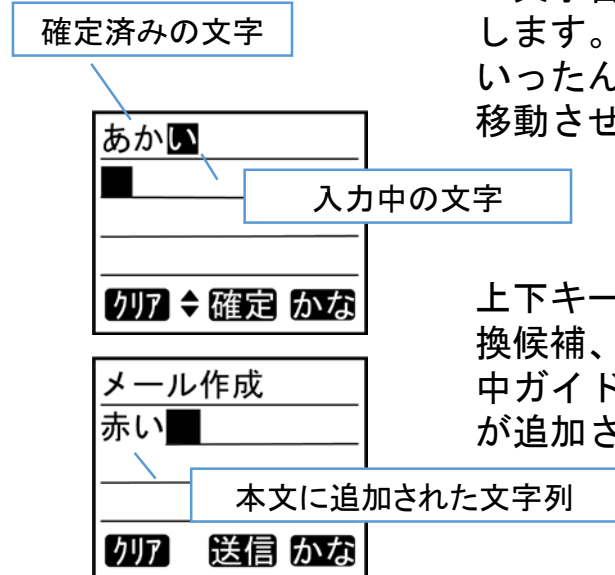
かな漢字モードでテンキーを押すと、最上段の「メール作成」または「相手先名称編集」の文字が消去され、入力した文字が表示されます。

例えば、**1 あ** キーを連続で押すと「あ」から順に「い」、「う」、「え」と変化し、「お」までが表示されます。

テンキーの他のキー（例えば **2 か ABC**）か **##** を押すと文字が確定しカーソルが右に移動します

8文字目では、カーソルがそれ以上は移動せず、その文字を上書きします。

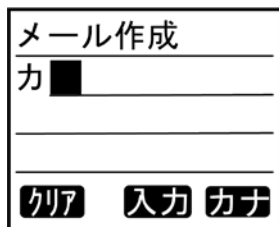
いったん入力した文字を修正する場合は、カーソルをその位置まで移動させ、正しい文字で上書きしてください。




上下キーを押すと変換が行われ候補が表示されます。下キーで次変換候補、上キーで前変換候補が順次表示されます。

中ガイドキー(確定)かテンキーを押すと変換が確定し、下段に文字が追加されます。

- カナ、英字、数字モードの操作について説明します。

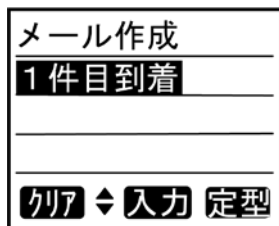


テンキーで文字を入力します。
以下のいずれかの操作で文字を確定しカーソルを右に移動します。


- 中ガイドキー（入力）を押す
- 他のテンキーを押す
-  を押す

数字モードでは入力文字の確定操作はありません。

- 定型文モードの操作について説明します。



上下キーで登録されている定型文が表示されます。
検索された定型文は、反転表示となります。
下キーで次登録定型文、上キーで前登録定型文が順次表示されます。
以下のいずれかの操作で文字を確定しカーソルを右に移動します。

- 中ガイドキー（入力）を押す
-  を押す

定型文が1件も登録されていない場合は、入力モード切替で「定型」が表示されません。

- 文章の入力中に左ガイドキー(クリア)で文字を消去できます。

かな漢字モードのときは、確定前の文字(最上段)、確定した文字(下段)の順に消去されます。

漢字変換中で最上段が反転表示しているときは、変換が解除されます。

消去には、以下のパターンがあります。

1回押し： カーソル上の文字が消えます。(右に文字があればつめる)
カーソル上に文字がなければ、1つ左の文字が消えます。
(カーソルが左に移動)

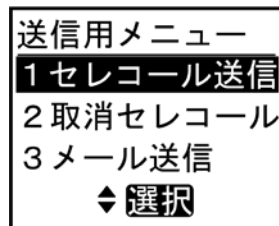
長押し： 入力文字が全部消えます。
(かな漢字モードでは、上下段ごとに全消去)

2-5 取消セレコールを送信する(1)

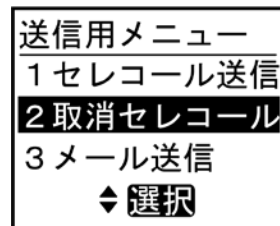
[通常操作]

- 待ち受け画面で相手局番号を入力します。次に①中ガイドキーと②上下キーで取消セレコール画面を表示します。次に、③セレコールキーで取消します。

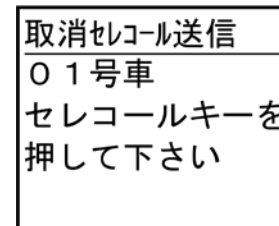
送信用メニュー画面



送信用メニュー画面



取消セレコール送信画面

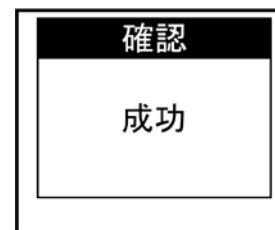
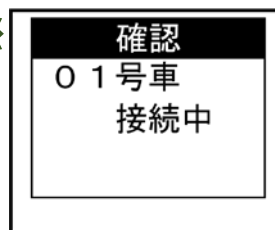


①中ガイドキー
を押します。

②上下キーを押して
「2 取消セレコール」に
カーソルを合わせます。

送信用メニュー画面
上で、①中ガイド
キーを押します。

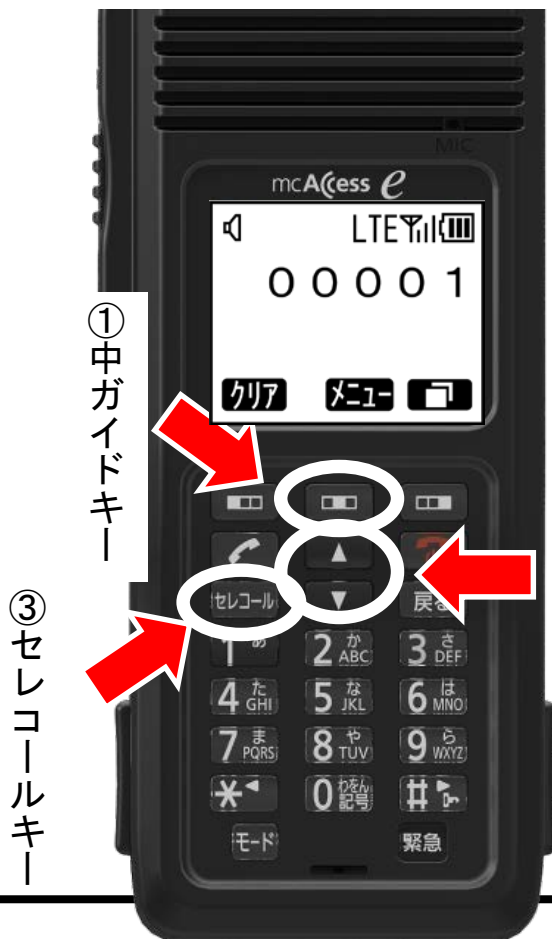
送信用メニュー画面上でテンキーの2を押せば、直接取消セレコール送信画面へ飛びます。



②上下キー

③セレコールキーを
押します。

取消しに成功すると
(ピッポー)
という音が鳴ります。

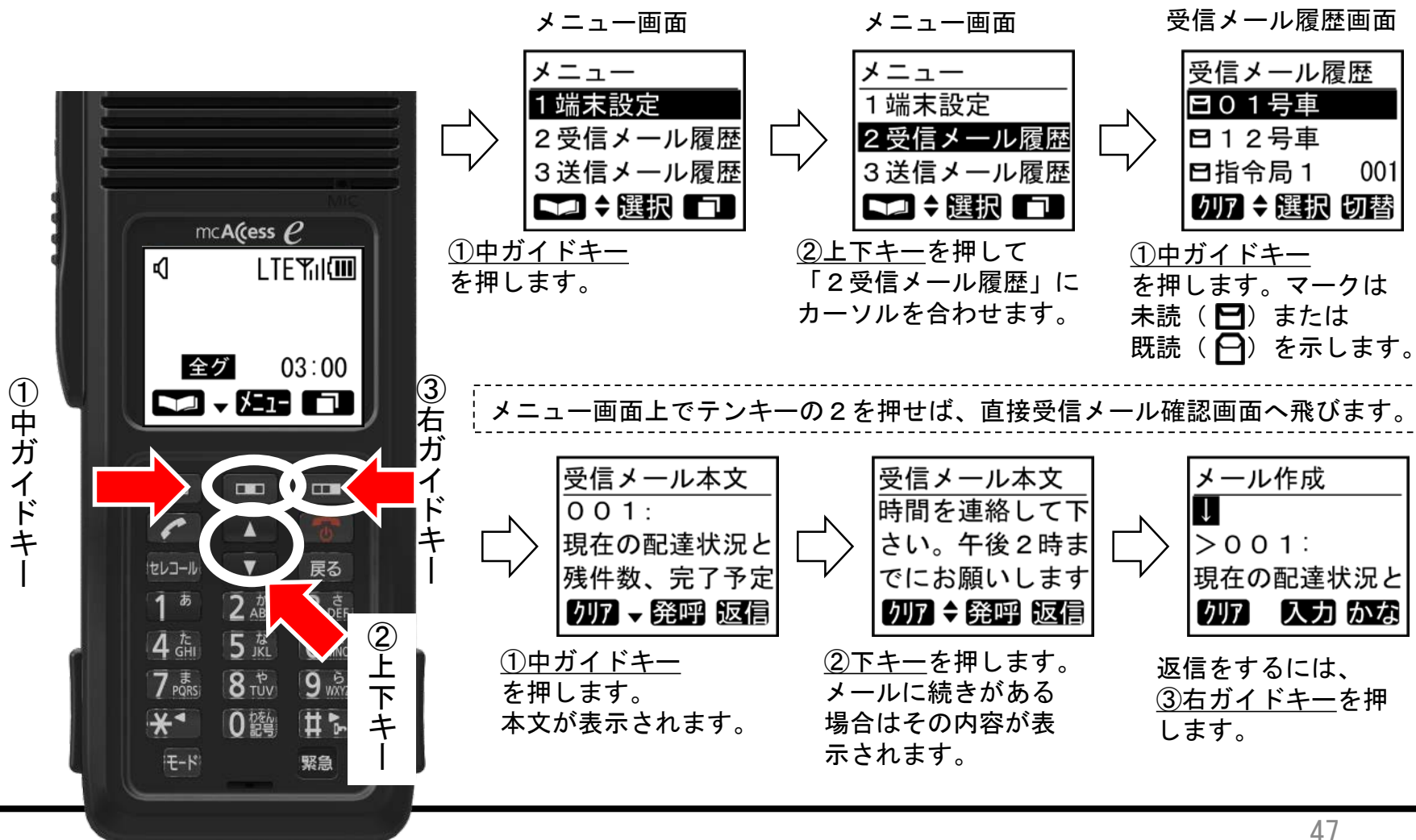


- 相手局番号を直接入力する代わりに、局番号帳を利用して相手局を指定することもできます。
局番号帳に関する詳細は、「局番号帳を利用して発信する」を参照してください。
- 取消セレコールを送信する際は、待ち受け画面で設定されたモードで発呼します。
- セレコールの取り消しに失敗すると、(ピー)という失敗音が鳴り、画面に失敗内容を示すメッセージが表示されます。

2-6 受信メールの履歴を確認する(1)

[通常操作]

- 受信したメールの履歴を確認し、メールの返信ができます。
- 受信メールの確認は①中ガイドキーと②上下キーで行います。さらに返信を③右ガイドキーで行います。

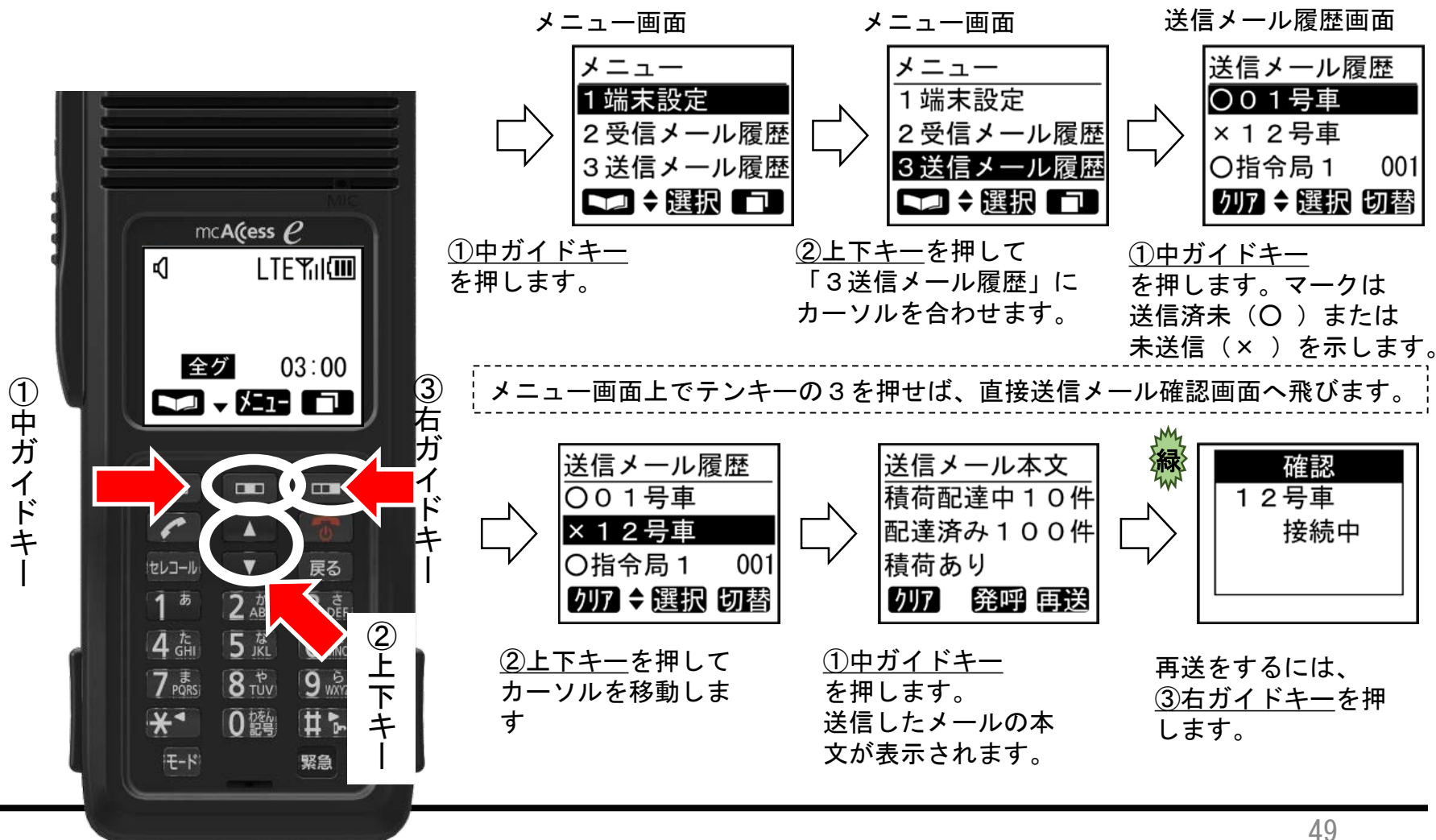


- 履歴は最大20件まで格納されます。履歴が20件ある場合、メールを受信しません。(システム定数の「メッセージメール上書き」を「上書きする」に設定すると既読で一番古い内容が自動的に消去されます)
- 受信メール履歴画面で右ガイドキー(切替)を押すと、送信メール履歴が表示されます。
ただし、履歴が無い場合は「送信メールはありません」というメッセージが表示されます。
- メールの内容を表示しているときに左ガイドキー(クリア)を押すと、そのメールが消去され、「受信メールを1件消去しました」というメッセージが表示されます。更に押し続けると、メールを全件消去することができます。ただし、未読の内容は、消去することができません。
- 受信メール本文画面で中ガイドキー(発呼)を押すと、メールを受信した相手局に対して発呼します。
- メールの確認が完了すると、確認状況を示すマークが未読から既読に更新されます。ただし、受信したメールが複数のページにまたがる場合は、最終ページまで確認した際に既読扱いとなります。
- 電源を切っても内容は保存されます。ただし、電源を切る前に電池を外してしまうと、内容を保持することができません。

2-7 送信メールの履歴を確認する(1)

[通常操作]

- 送信したメールの履歴を確認し、メールの再送信ができます。
- 送信メールの確認は①中ガイドキーと②上下キーで行います。さらに再送を③右ガイドキーで行います。

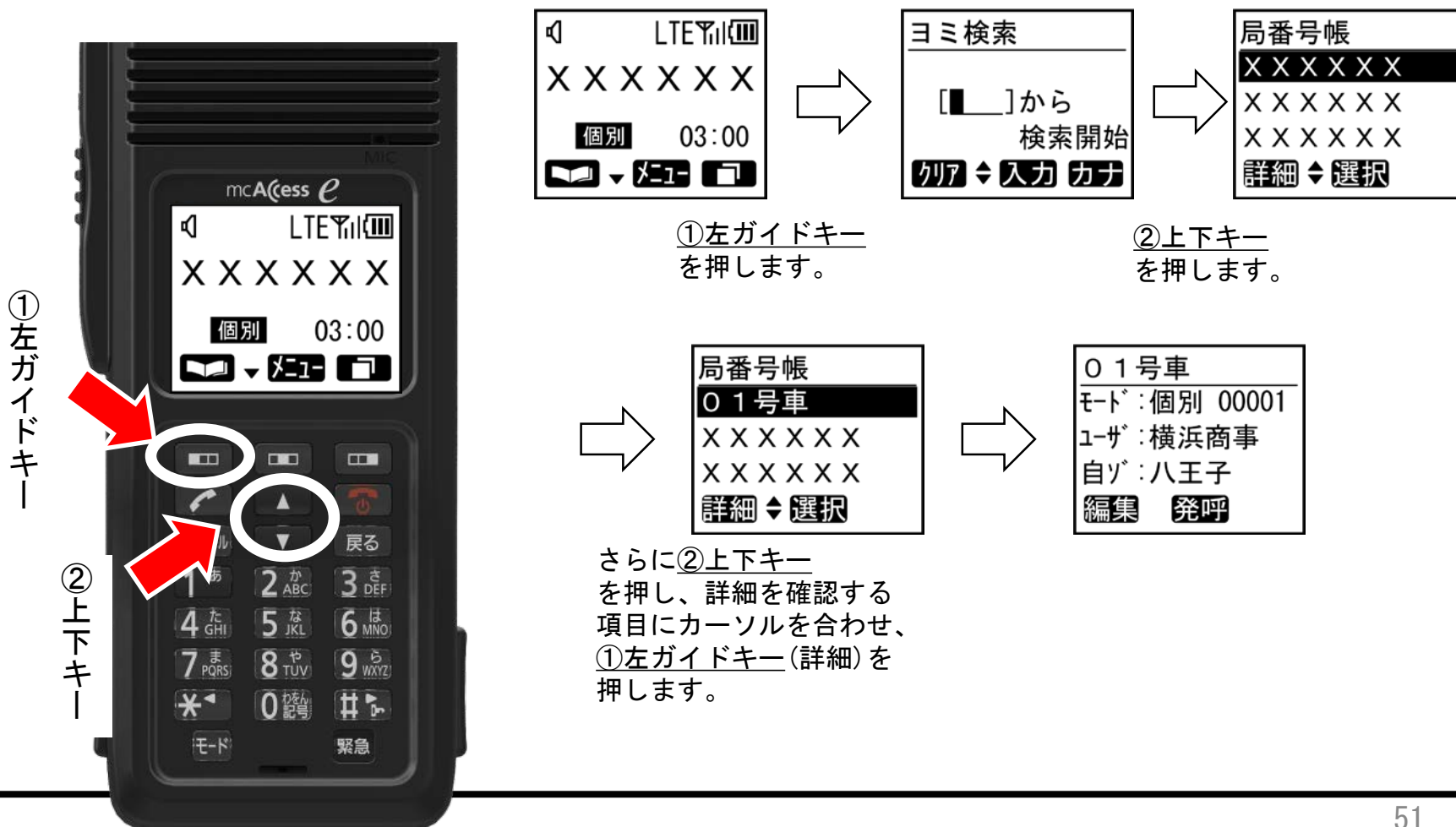


- 履歴は最大10件まで格納されます。メモリーが満杯になると一番古い内容から自動的に消去されます。
- 送信履歴メール画面で右ガイドキー（切替）を押すと、受信メール履歴が表示されます。ただし、履歴が無い場合は「受信メールはありません」というメッセージが表示されます。
- メールの内容を表示しているときに左ガイドキー（クリア）を押すと、そのメールが消去され、「送信メールを1件消去しました」というメッセージが表示されます。更に押し続けると、メールを全件消去することができます。
- 送信メール本文画面で中ガイドキー（発呼）を押すと、メールを送信した相手局に対して発呼します。
- 再送信が完了すると、送信状況を示すマークが×から○に更新されます。
- 電源を切っても内容は保存されます。ただし、電源を切る前に電池を外してしまうと、内容を保持することができません。

2-8 局番号帳の詳細情報を確認する(1)

[通常操作]

- 局番号帳に登録された詳細内容が表示されます。
- 詳細情報の確認は①左ガイドキーと②上下キーで行います。



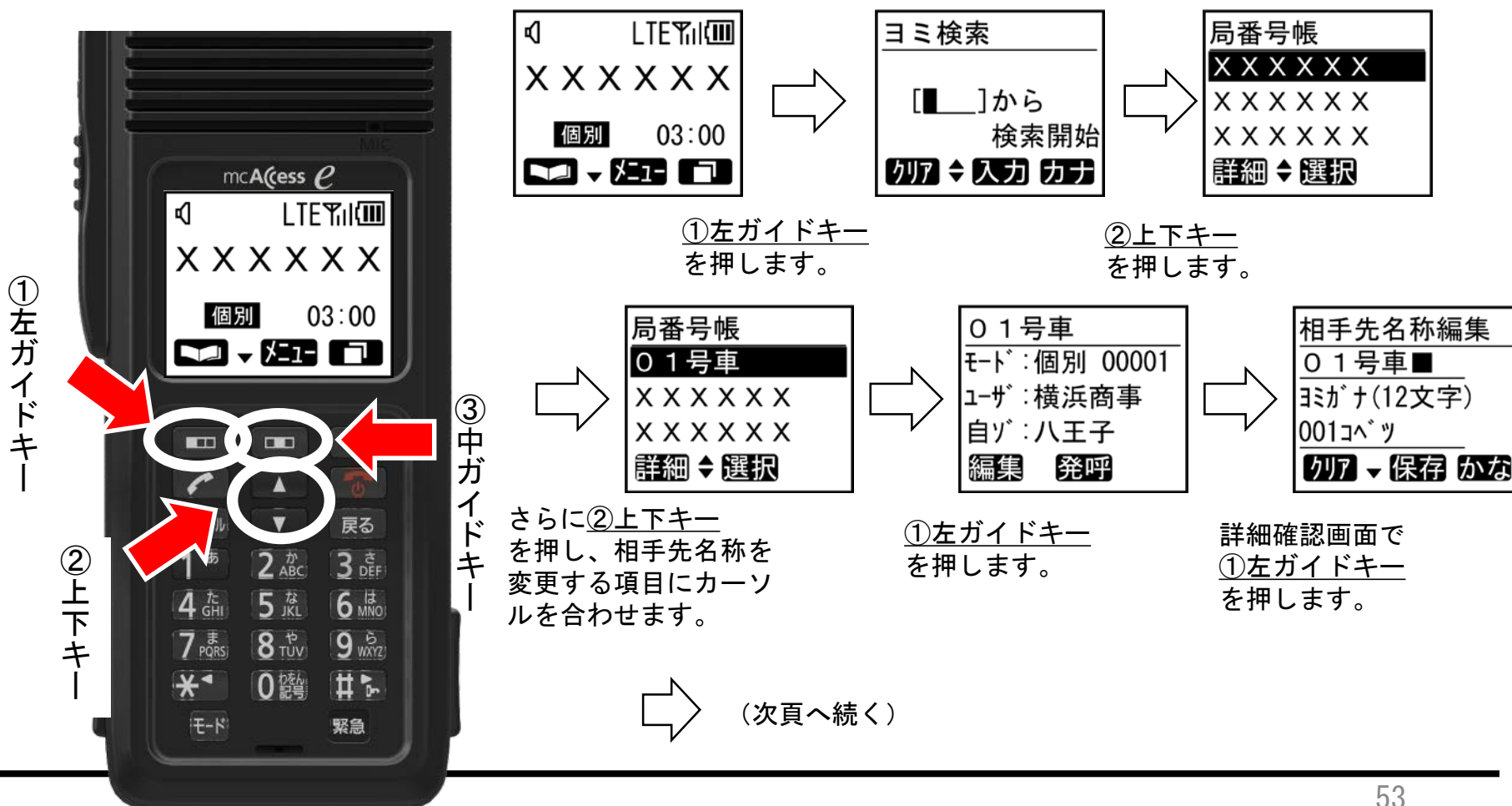
詳細情報で表示される内容は、以下の通りです。この中から登録されている内容が順次表示されます。

- ① モード： 通信モード+(グループ/個別/電話の場合)相手局番号
- ② ユーザ： 現在のユーザー名称または番号
- ③ 自ゾ： 自局の現在位置するゾーン名称または番号
- ④ 接ゾ： 広域接続先のゾーン名称または番号（全て指定されている場合は「全ゾーン」）

2-9 局番号帳の相手先名称を編集する(1)

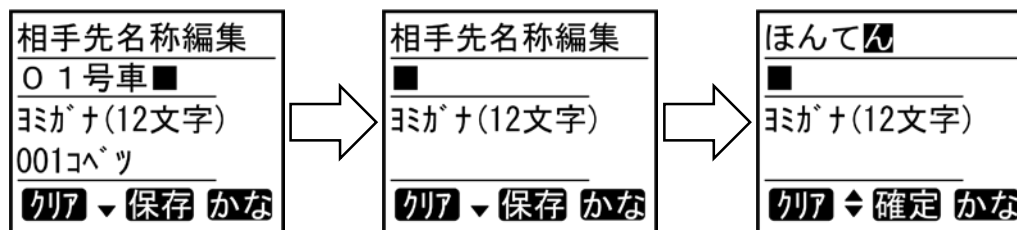
[通常操作]

- 局番号帳の相手先名称を編集します。相手先名称とヨミガナが編集できます。



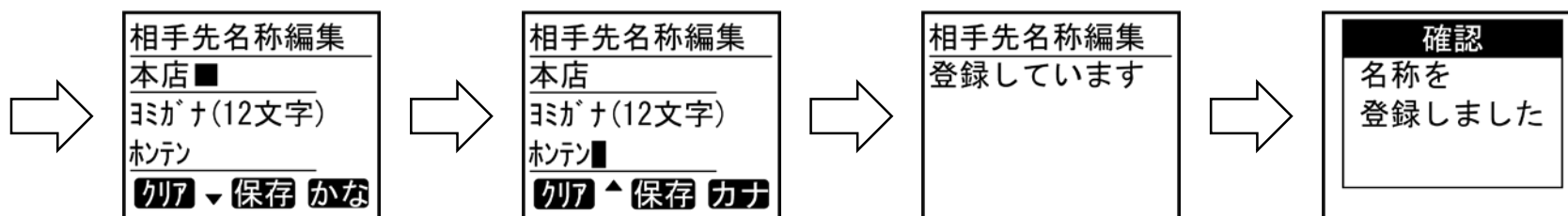
2-9 局番号帳の相手先名称を編集する(2)

[通常操作]



①左ガイドキーを長押しします。入力内容がすべてクリアされます。

相手局名称を入力します。入力の仕方は、「2-4 文章を入力する」を参照してください。



相手先名称を入力すると、ヨミガナ欄に同内容が自動入力されます。

ヨミガナを編集する場合は、②下キーでヨミガナ欄にカーソルを移動し、入力してください。

③中ガイドキーを押して登録します。

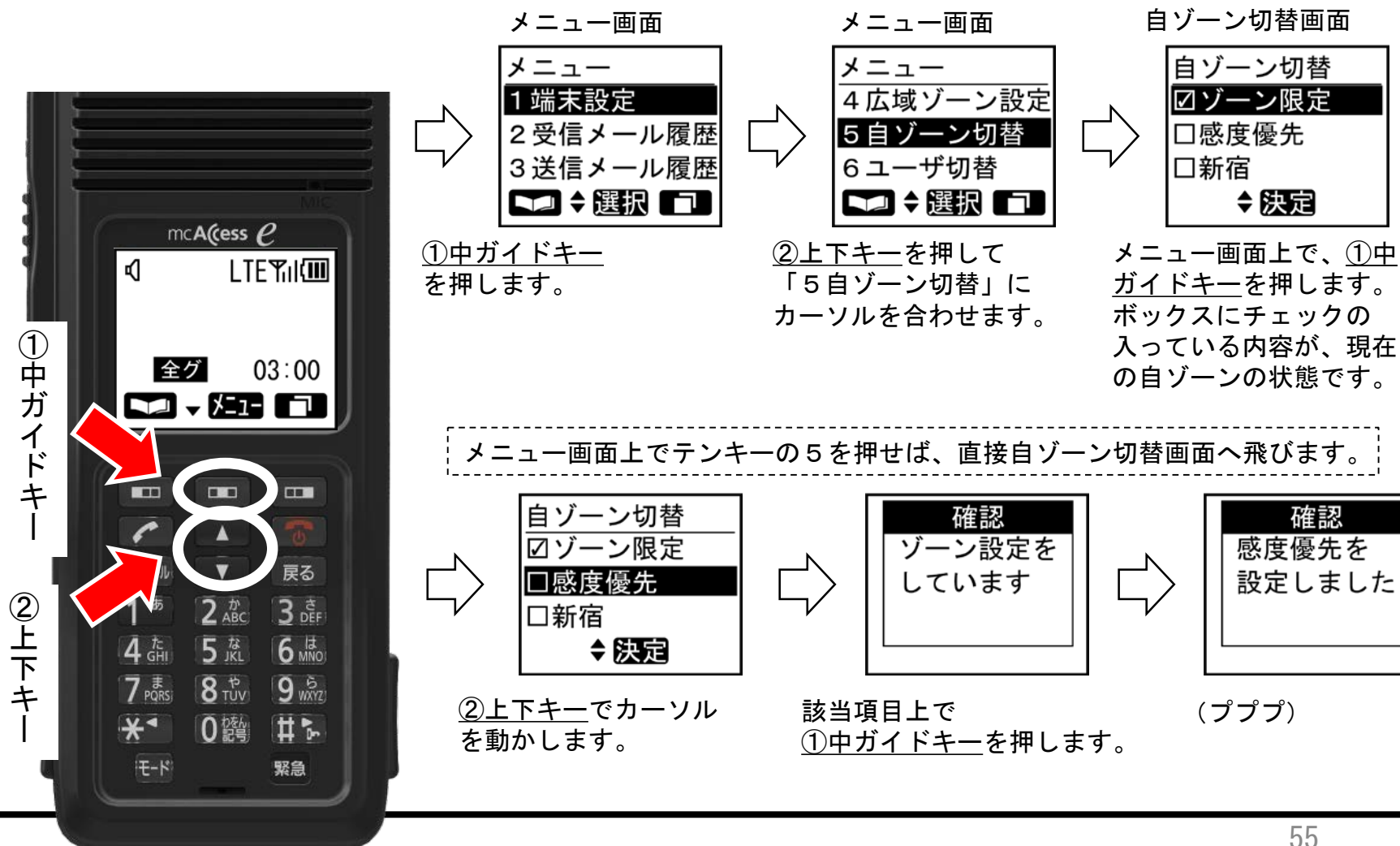
(ポップ)

- 入力方法は「2-4 文章を入力する」を参照してください。
- 相手先名称欄に「、。ー！？：（）％＆¥＋，／＊＃＞」の各記号を入力した場合は、フリガナ欄に自動変換されません。
- 相手先名称欄とヨミガナ欄のどちらかが空白になっていると、保存ができません。必ず両方の欄に入力してください。

2-10 自ゾーンを切り替える(1)

[通常操作]

- 自局が通信を行いたいゾーンを変更します。
- 自ゾーン切替は①中ガイドキーと②上下キーで変更が出来ます。

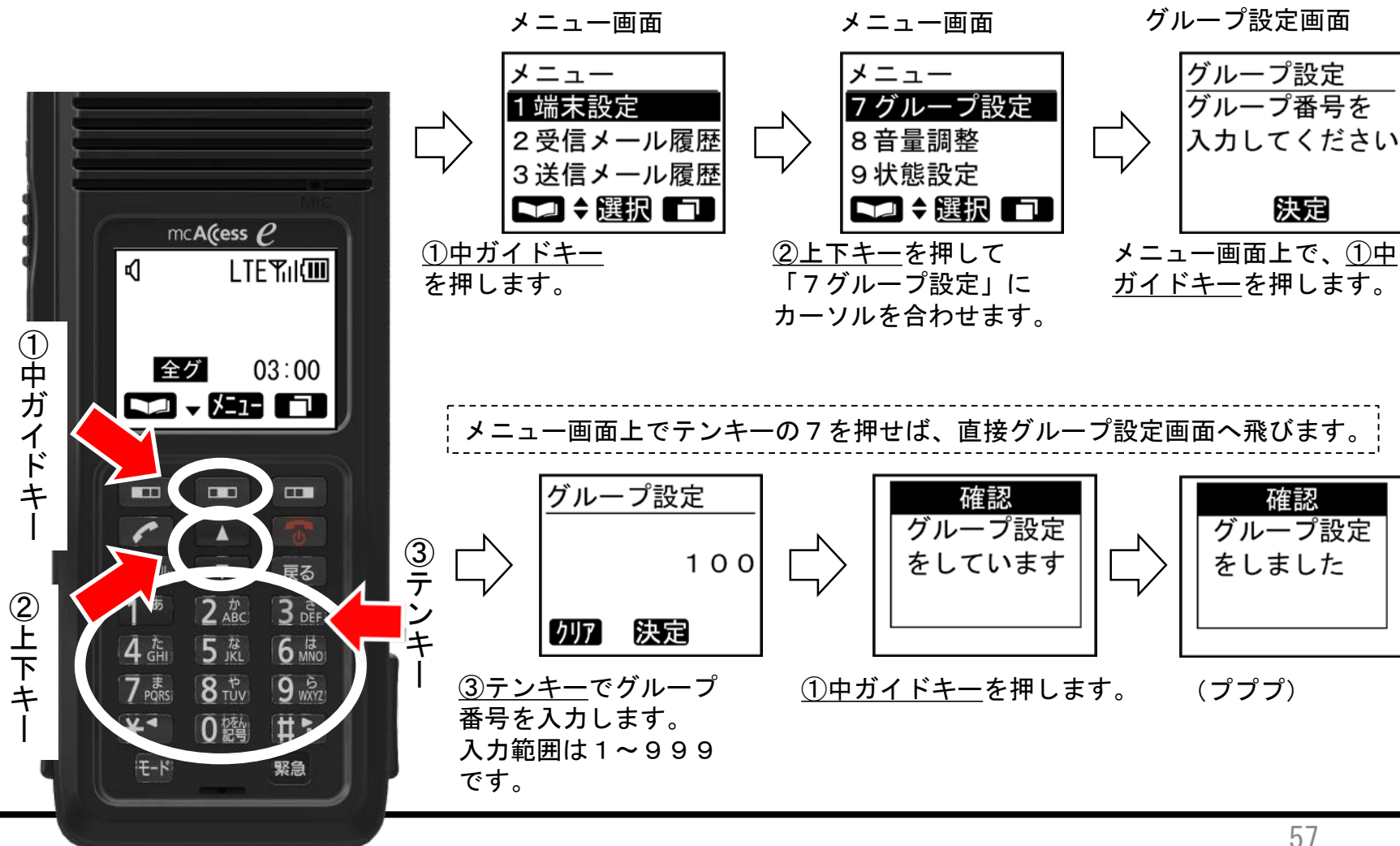


- 自ゾーン切替画面には、ゾーンの名称または番号が表示されます。選択対象となるゾーンの登録可能な件数は、最大300件です。
- 具体的なゾーン名称や番号以外にも、以下の内容が表示されます。（表示する内容は保守設定により変更可）
 - ①ゾーン限定：
あらかじめ決められたゾーンの中で通信を行う
 - ②感度優先：
その場所で一番電波の強いゾーンを自動選択
 - ③ホーム優先：
ホームゾーンのエリアでは、ホームゾーンへ切り替えます。ホームゾーン以外のエリアでは、電波の強いゾーンへ切り替えます。
- 自ゾーン切り替えに失敗すると、「ピー」という失敗音が鳴り、「ゾーン設定に失敗しました」というメッセージが表示されます。
- 自ゾーン切り替え中は、発着信が行えません。
- 電源を切る前に電池を外してしまうと、設定を保存することができません。
- 自局での変更ではなく、中継局からの移動局情報の更新などにより、運用中にゾーンが自動設定されることがあります。その際には、「ゾーン情報を更新しました」というメッセージが表示されます。

2-11 グループを設定する(1)

[通常操作]

- グループモードで発信する時に使用する通話グループを設定します。
- グループ設定は①中ガイドキーと②上下キーと③テンキーで行います。

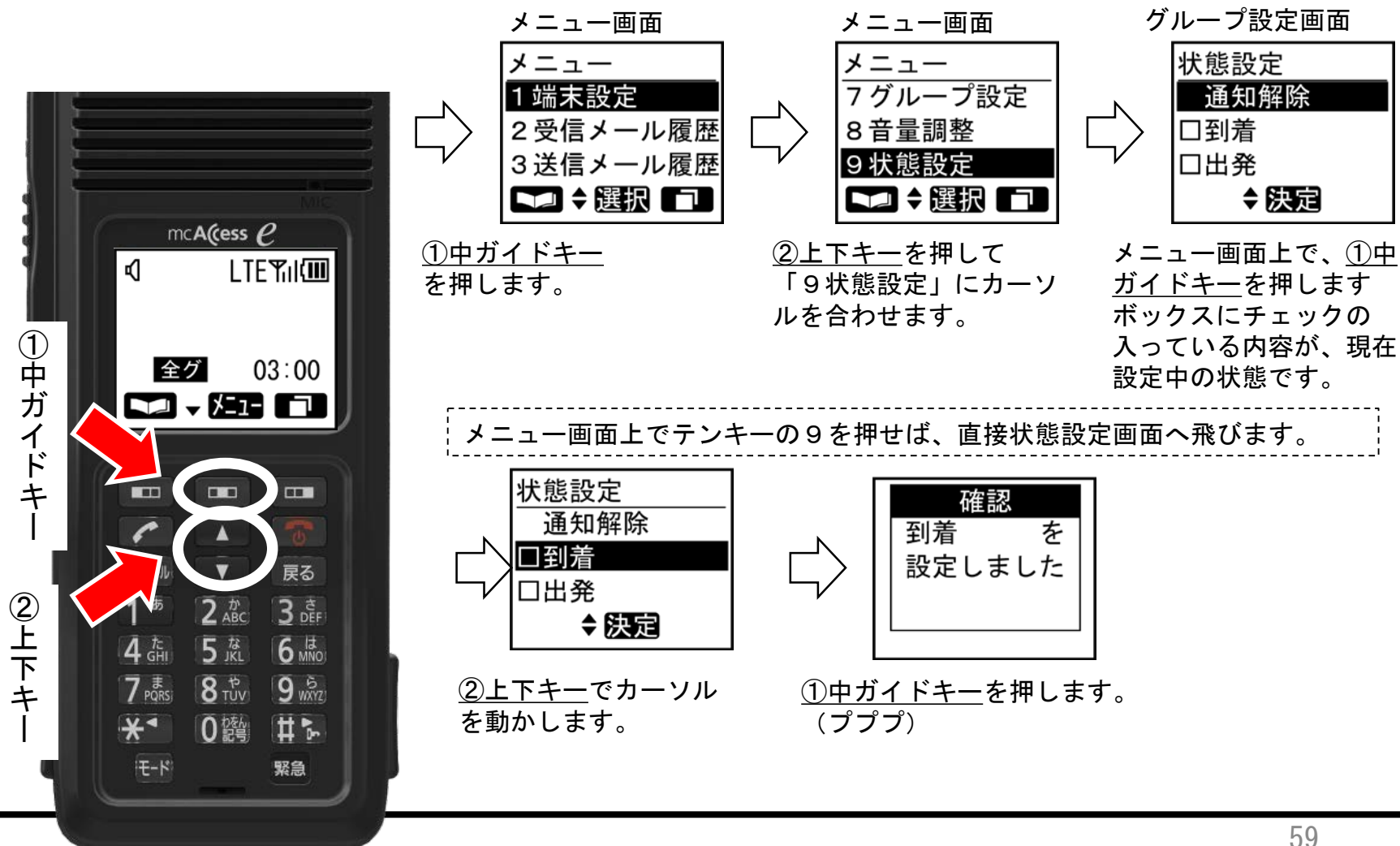


- グループ設定に失敗すると、(ピー)という失敗音が鳴り、「グループ設定失敗しました」というメッセージが表示されます。
- グループ設定を行わないと、待ち受け画面で発信モードを切り替える際に、グループモードが表示されません。通信モードに関する詳細は、「通信モード切替」を参照してください。
- 着信するグループ番号は局番号帳に登録されているものです。基本的に、この設定で指定するグループ番号は局番号帳に登録されているいずれかのグループ番号とします。
- グループ設定中は、発着信が行えません。
- 電源を切る前に電池を外してしまうと、設定を保存することができません。

2-12 状態を設定する(1)

[通常操作]

- ・ 自局の現在の状態を示す定型の状態内容を設定します。
- ・ 状態設定は①中ガイドキーと②上下キーで行います。

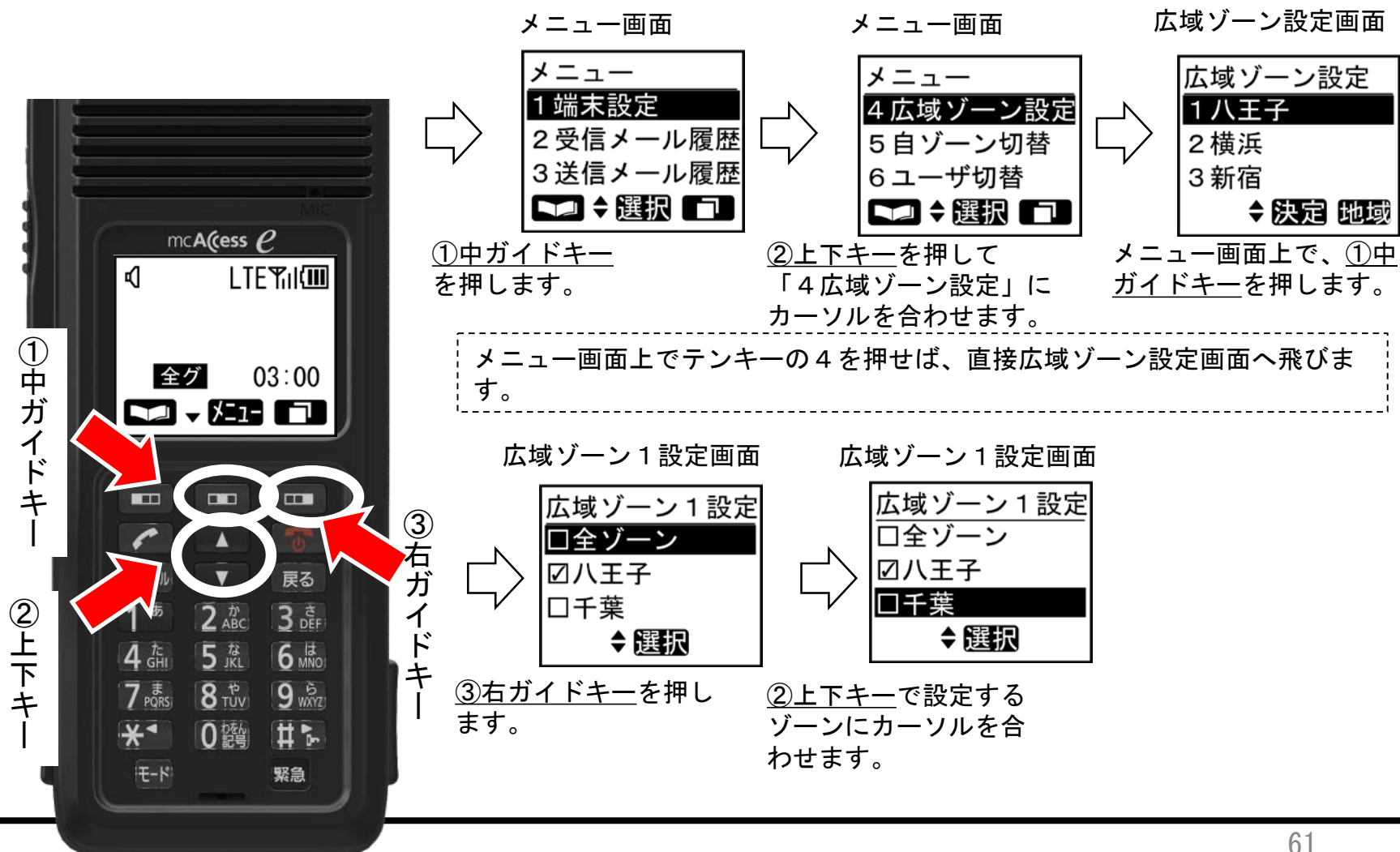


- 状態設定画面で設定した状態が、待ち受け画面にて表示されます。状態設定画面で選択対象となる定型の状態内容の登録可能な件数は、最大20件です。
- 設定された状態を解除したい場合は、一番先頭の「通知解除」を選択し、中ガイドキー（決定）を押してください。（プププ）という設定完了音が鳴り、「状態を解除しました」というメッセージが表示されます。その後、待ち受け画面に戻ると、表示されていた状態が消去されます。
- 電源を切る前に電池を外してしまうと、設定を保存することができません。

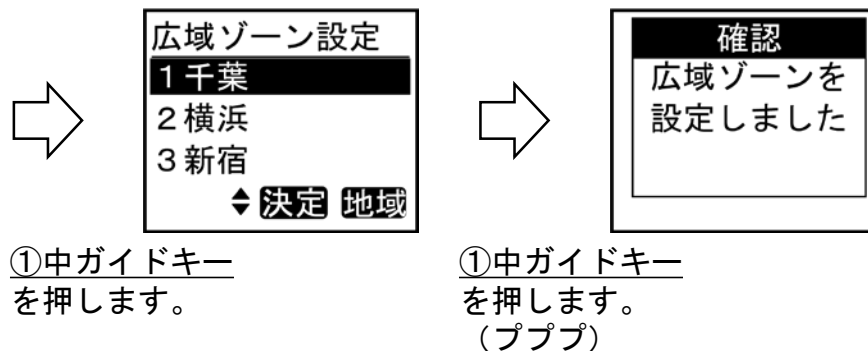
2-13 広域ゾーンを設定する(1)

[通常操作]

- 広域接続先のゾーンを設定します。
- 広域ゾーン設定は①中ガイドキーと②上下キーと③右ガイドキーで行います。



広域ゾーン設定画面



- 広域ゾーン設定画面には、接続先のゾーン名称または番号が表示されます。選択対象となるゾーンの登録可能な件数は最大300件です。
- 具体的なゾーン名称や番号以外にも、以下の内容が表示されます。
 - ① 全ゾーン： 全ての登録ゾーンを広域接続先に指定
 - ② ホームゾーン： 自局が通常所属しているゾーンを指定
 - ③ 全解除： 現在設定中の広域接続先を全てキャンセル
- 電源を切る前に電池を外してしまうと、設定を保存することができません。
- 自局での変更ではなく、中継局からの移動局情報の更新などにより、運用中にゾーンが自動設定されることがあります。その際には、「ゾーン情報を更新しました」というメッセージが表示されます。

2-14 自局情報を確認する

[通常操作]

- 自局に関する詳細内容が表示されます。
- 自局情報の確認は①中ガイドキーと②上下キーで行います。

①中ガイドキー

②上下キー

メニュー画面

メニュー
1 端末設定
2 受信メール履歴
3 送信メール履歴
◀ 選択 ▶

メニュー画面

メニュー
0 自局設定
◀ 選択 ▶

自局情報確認画面

自局情報
ユーザ：横浜商事
自ゾ：八王子
自番：00123
▼ 確認

①中ガイドキーを押します。

②上下キーを押して「0自局設定」にカーソルを合わせます。

メニュー画面上で、①中ガイドキーを押します。

メニュー画面上でテンキーの0を押せば、直接自局情報確認画面へ飛びます。

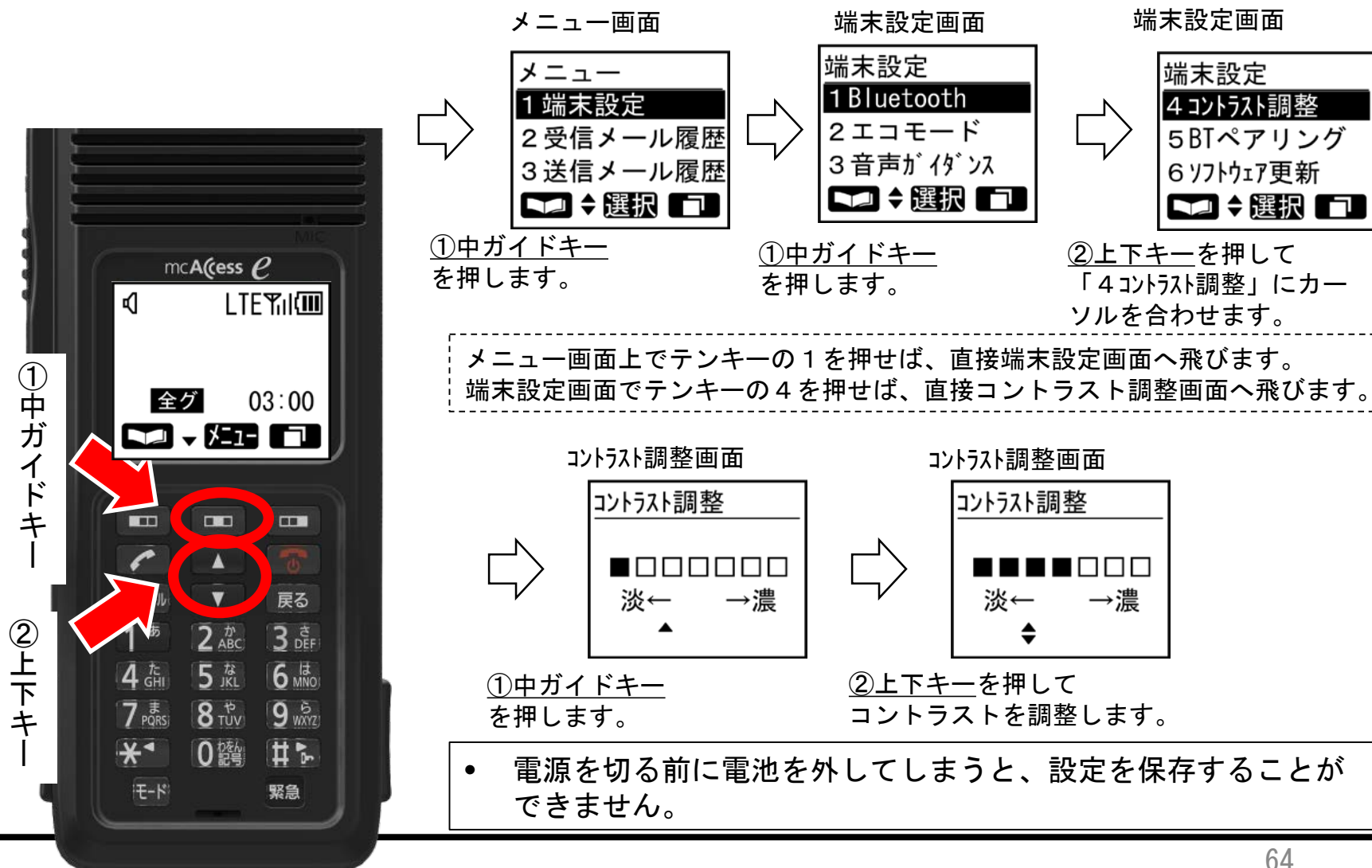
・自局情報で表示される内容は、以下の通りです。
この中から登録されている内容が順次表示されます。

①ユーザ：	現在のユーザー名称または番号
②自ゾ：	自局の現在位置するゾーン名称または番号
③自番：	自局の個別番号
④着グループ：	自局が所属するグループ番号
⑤移動局機体番号：	自局に付与されている個別別の物理番号
⑥サブ：	サブユーザー時の名称または番号
⑦サ番：	サブユーザー時の個別番号
⑧サブ着グループ：	サブユーザー時の所属グループ番号

2-15 コントラストを調整する

[通常操作]

- 画面のコントラスト（濃淡）を調整します。
- コントラストの調整は①中ガイドキーと②上下キーで行います。



2-16 SIM状態を確認する

[通常操作]

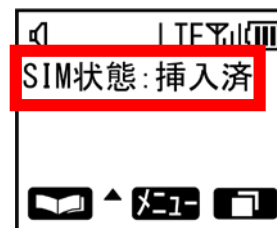
- SIMカードの状態を確認します。
- 待ち受け画面で①下キーを繰り返し押しします。



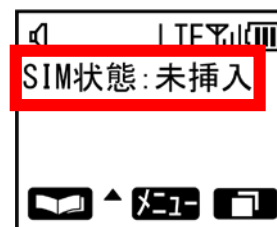
①下キー



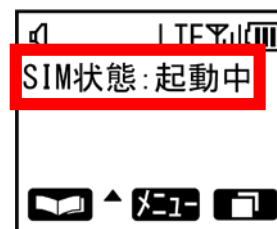
この画面が
表示されるまで
①下キーを
繰り返し押しします。



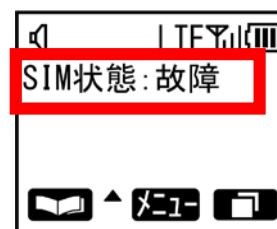
挿入済：
SIMは正しく挿入されています。



未挿入：
SIMは挿入されていません。



起動中：
LTEモジュールを起動しています。
しばらく待ってから、
画面を再表示してください。



故障：
LTEモジュールが故障しています。

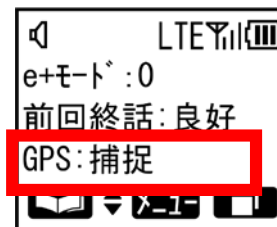
2-17 GPS状態を確認する

[通常操作]

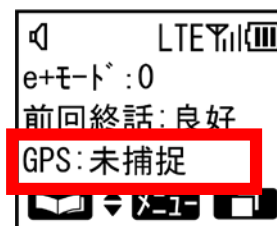
- GPSモジュールの状態を確認します。
- 待ち受け画面で①下キーを繰り返し押します。



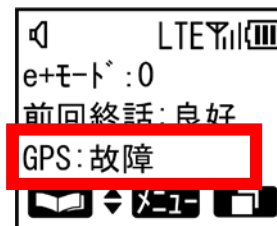
この画面が
表示されるまで
①下キーを
繰り返し押します。



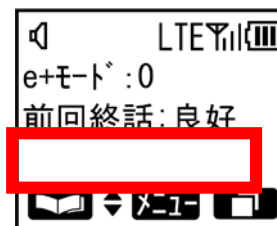
捕捉：
GPS衛星を捕捉済みです。



未捕捉：
GPS衛星が捕捉できていません。



故障：
GPSモジュールが故障しています。



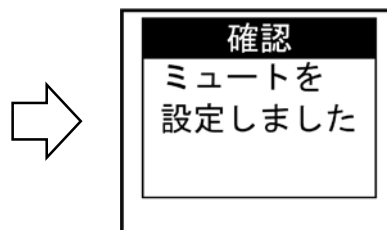
表示無し：
GPSモジュールを使用しない設定です。
設定はシステム設定で変更可能です。

3 端末設定編

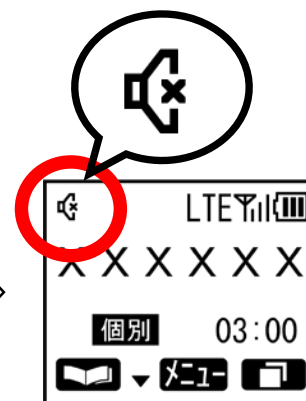
3-1 ミュートを設定する

[通常操作]

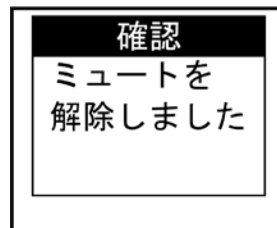
- 本体のスピーカーをミュートに設定します。
- ① ミュートキーを長押しします。



① ミュートキーを長押しします。



アイコンがミュートマークに変化します。

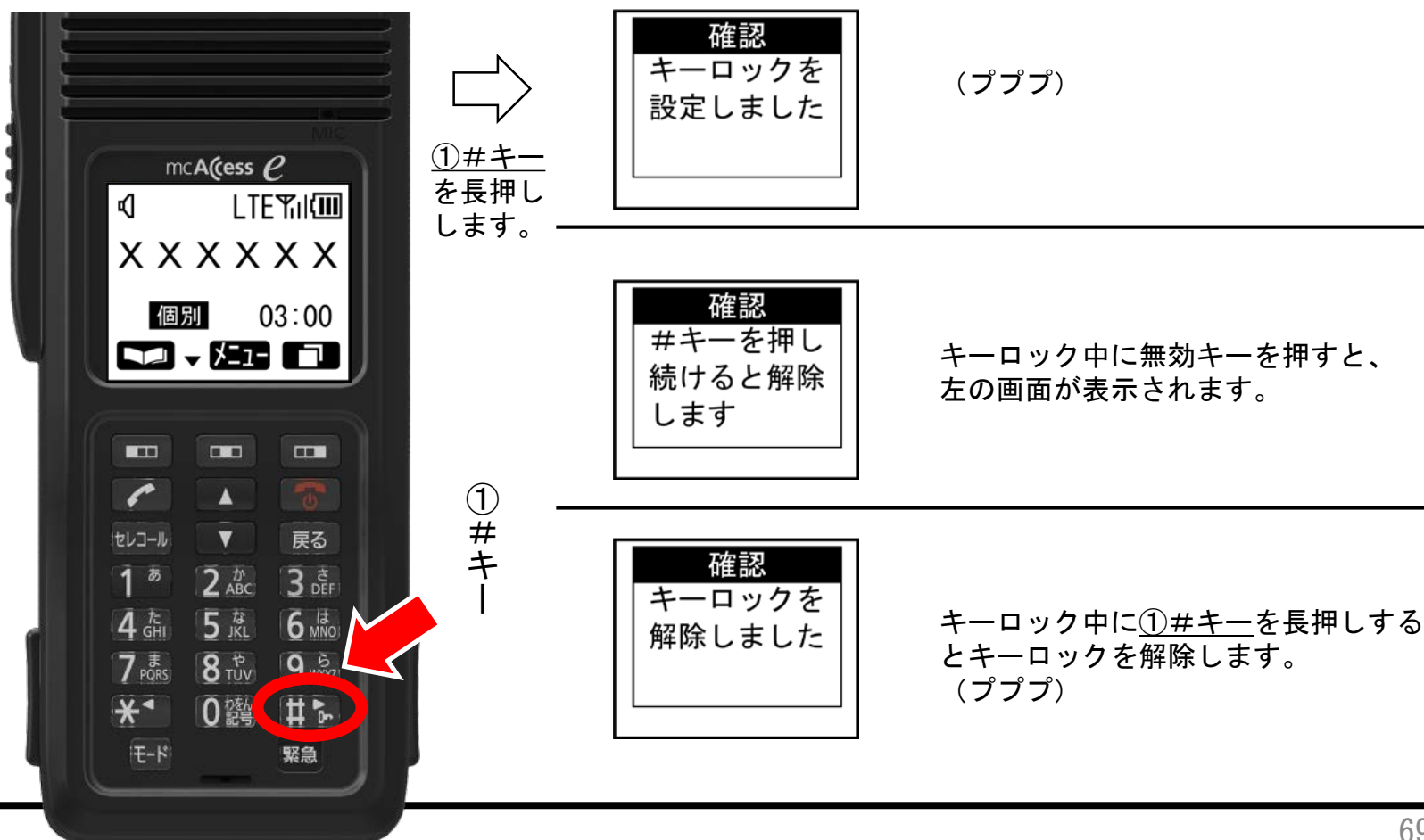


- プレスキーを押すと、ミュート状態を自動解除します。
- ミュート中に着信すると、LEDが点滅します。
- ミュート解除操作時には、「ミュートを解除しました」が表示されます。
- ミュート状態では、Bluetoothマイクの音声出力もミュート状態になります。

3-2 キーロックを設定する(1)

[通常操作]

- キーの操作が無効になるロック設定及びロック解除を行います。
- キーロックは①#キーを長押しして設定します。



①#キーを長押しします。

確認
キーロックを設定しました
(プププ)

①#キー

確認
#キーを押し続けると解除します

キーロック中に無効キーを押すと、左の画面が表示されます。

①#キー

確認
キーロックを解除しました
(プププ)

キーロック中に①#キーを長押しするとキーロックを解除します。
(プププ)

- ・キーロック設定中でも、電源を切る操作、ロック解除及び着信時における通話関連のキー操作（プレス、音量調整、ミュート）、緊急操作は有効となります。
- ・電源を再度入れたときは、電源を切る前の設定が継続されます。
- ・電話接続の待ち受け時は、キーロック設定を行えません。

3-3 BluetoothのON/OFFを切り替える(1)

[通常操作]

- BluetoothのON/OFFの切り替えは、Bluetooth状態画面から①中ガイドキーで行います。

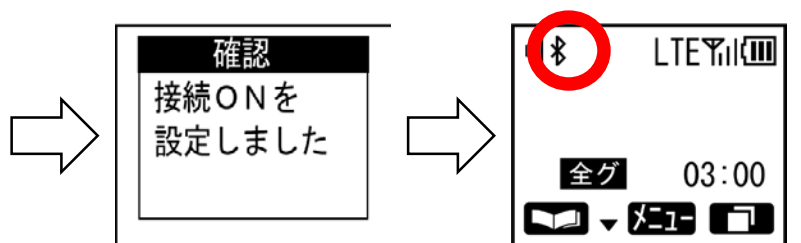


①中ガイドキーを押します。


①中ガイドキーを押し、端末設定を選択します。

①中ガイドキーを押し、Bluetoothを選択します。

メニュー画面上でテンキーの1を押せば、直接端末設定画面へ飛びます。
端末設定画面でテンキーの1を押せば、直接Bluetooth状態画面へ飛びます。



①中ガイドキーを押します。
(ププ)

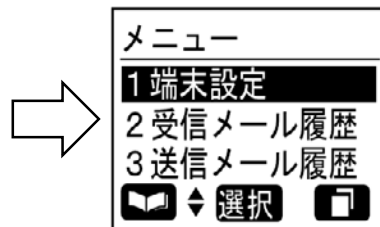
・マイク1接続時には「M₁」が、マイク2接続時には「M₂」が、「」の場所に表示されます。

- BluetoothをOFFに設定する場合も、ONに設定する場合と同様に操作します。
- BluetoothをONに設定すると、ペアリング済みで自動接続設定のマイクもしくは端末がある場合は、接続を開始します。
- BluetoothをOFFに設定すると、接続中の全てのBluetoothデバイスとのBluetooth接続を切断しますがペアリングは解除しません。

3-4 Bluetoothマイクのペアリング(1)

[通常操作]

- Bluetoothマイクの登録は以下の手順で行えます。



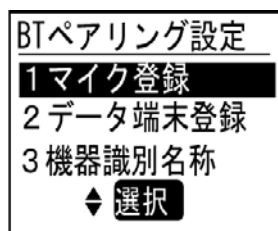
① 中ガイドキーを押します。



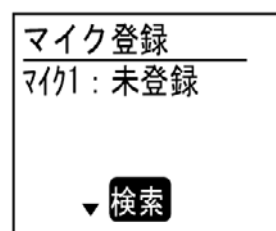
メニュー画面で① 中ガイドキーを押します。



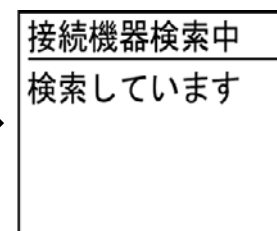
② 上下キーで「5 BTペアリング」にカーソルを合わせます。



端末設定画面で① 中ガイドキーを押します。



BTペアリング画面で① 中ガイドキーを押します。



登録するマイクをペアリングモードにします。
② 上下キーでマイク1/2を選択し、① 中ガイドキーを押します。



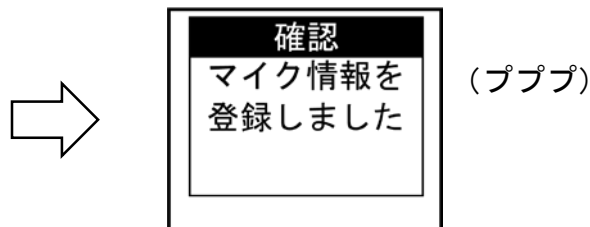
検索が終わるまでしばらく待ちます。

次ページへ

② 上下キーで登録する機器を選択し、① 中ガイドキーを押します。

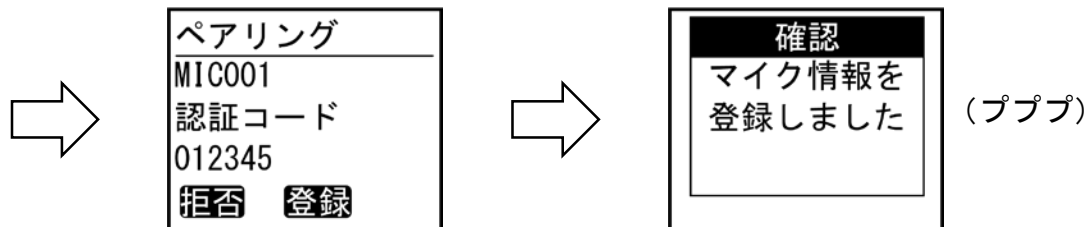
認証方式により以下のいずれかの画面が表示されます。

・自動認証の場合



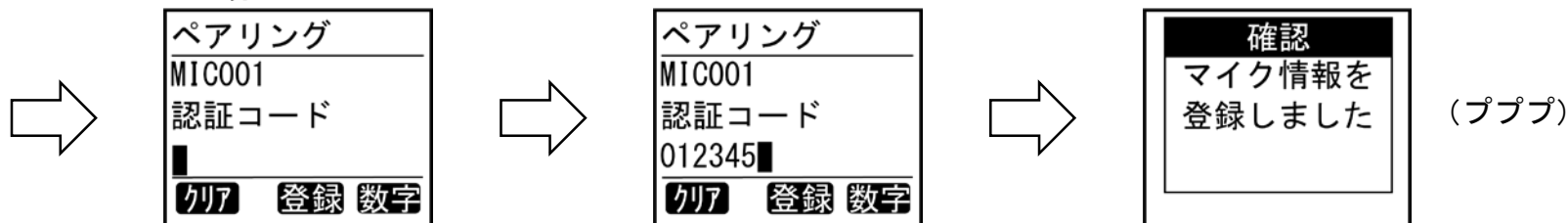
- 認証方式はマイクの仕様により異なります。
- 認証コードはマイクの仕様を確認してください。
- マイクが見つからない場合には「接続機器が見つかりません」が表示されます。
- 電源を切る前に電池を外してしまうと、内容を保持することができません。

・相互確認の場合



認証コードを確認し、
①中ガイドキーを押します。

・認証コード入力の場合



③テンキーで
認証コードを
入力します。

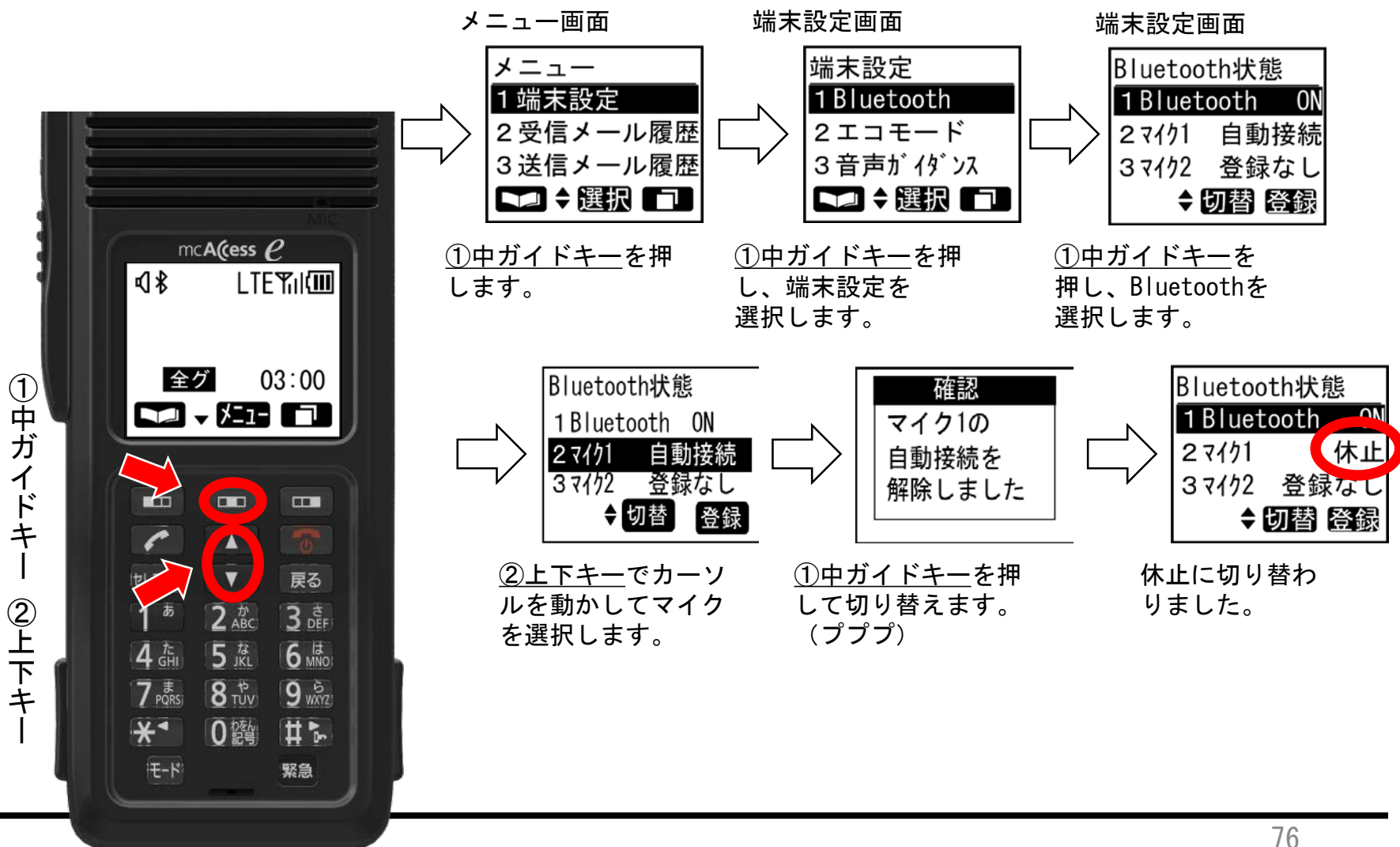
①中ガイドキー
を押します。

- Bluetoothマイクの使用方法は、各マイクの取扱説明書などを参照ください。

- マイクを自動接続設定している状態でマイクが見つからない場合には、LEDが橙点滅します。
- 登録済みのBluetoothマイクが2台とも電源ONになっている場合には、新たにマイクをペアリングすることができません。いずれかのマイクの登録を削除するか、登録済みのBluetoothマイクの電源をOFFにしてから、ペアリングしてください。
- Bluetoothマイクを接続した状態で複信通信を行う場合に音量が大きいと、Bluetoothマイクに送話・受話音声が入り込むことがあります
- 音量設定に注意してください。
- 1台のBluetoothマイクが、複数の携帯機とペアリング済みのときに、同時に複数の携帯機経由で通話することはできません。
- Bluetoothマイクで通話中に、端末本体のモードキーを押すと、受話音声出力を端末本体⇔Bluetoothマイク間で切り替えることができます。

3-6 Bluetoothマイクの自動接続／休止の切替(1) [通常操作]

- Bluetoothマイクの自動接続／休止の切り替えは、Bluetooth状態から
①中ガイドキーで変更が出来ます。



3-6 Bluetoothマイクの自動接続／休止の切替(2) [通常操作]

確認

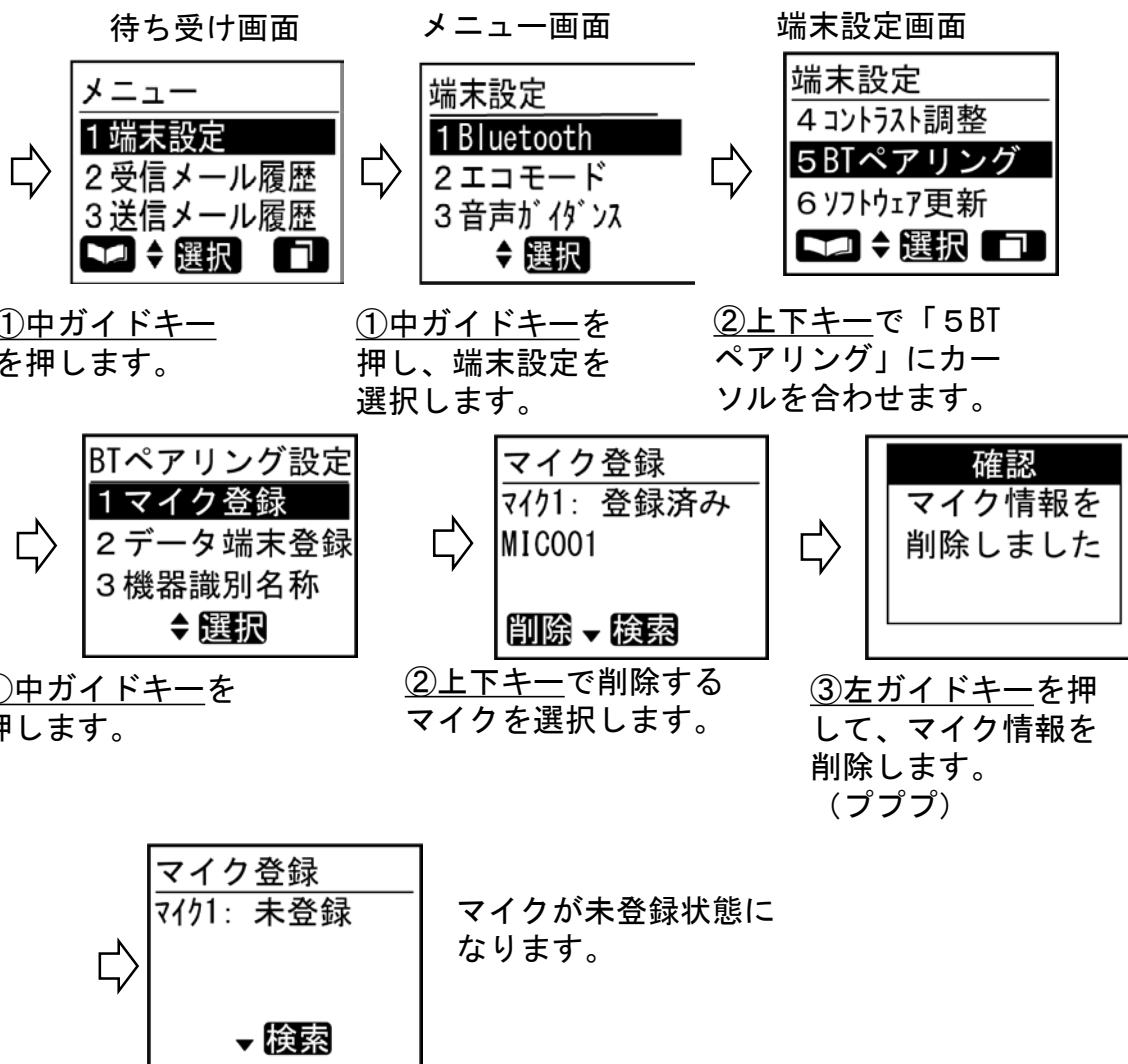
マイク1の
自動接続を
設定しました

- マイクを休止から自動接続に切り替えると、「マイク1の自動接続を設定しました」もしくは「マイク2の自動接続を設定しました」の画面が表示されます。(ポップ)
- マイク1・マイク2ともに自動接続に設定されている場合は、両方のマイクと接続状態になります。
- マイク1・マイク2ともに接続状態のときには、音声出力先はマイク1を優先します。マイク2から音声を出力したいときは、マイク1の電源を切るか、本画面でマイク1を休止状態にしてください。

3-7 Bluetoothマイク情報の削除

[通常操作]

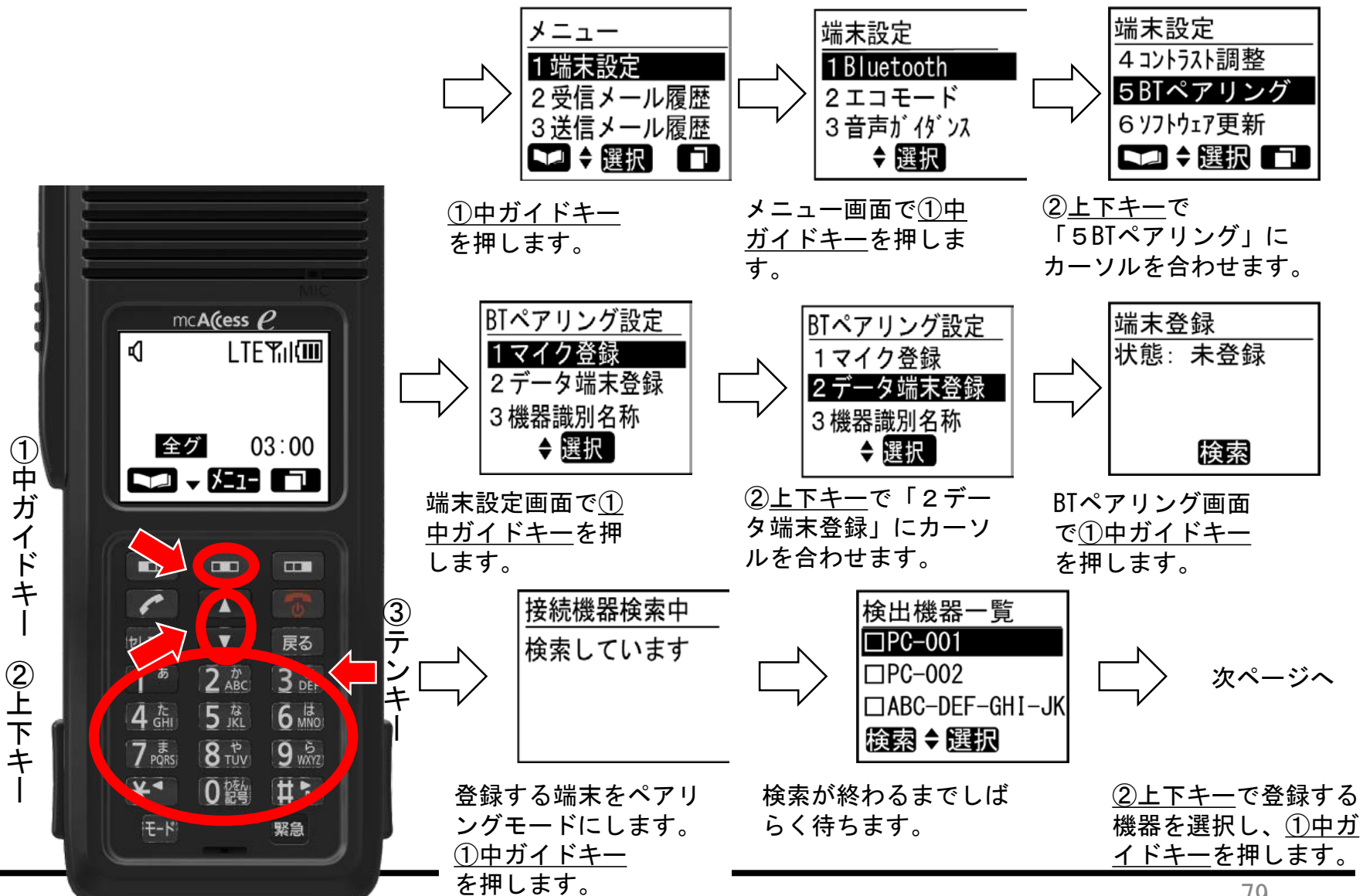
- Bluetoothのマイク情報の削除は、マイク登録画面から③左ガイドキーで行います。



3-8 Bluetoothデータ端末のペアリング(1)

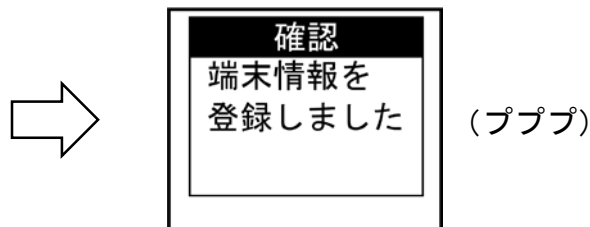
[通常操作]

・ Bluetoothのデータ端末の登録は以下の手順で行えます。



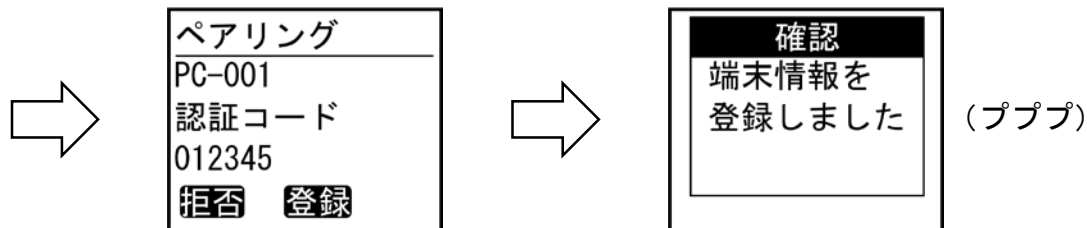
認証方式により以下のいずれかの画面が表示されます。

・ 自動認証の場合



- 認証方式はデータ端末の仕様により異なります。
- 認証コードはデータ端末の仕様を確認してください。
- データ端末が見つからない場合には「接続機器が見つかりません」が表示されます。
- 電源を切る前に電池を外してしまうと、内容を保持することができません。

・ 相互確認の場合



認証コードを確認し、
①中ガイドキーを押
します。

・ 認証コード入力の場合



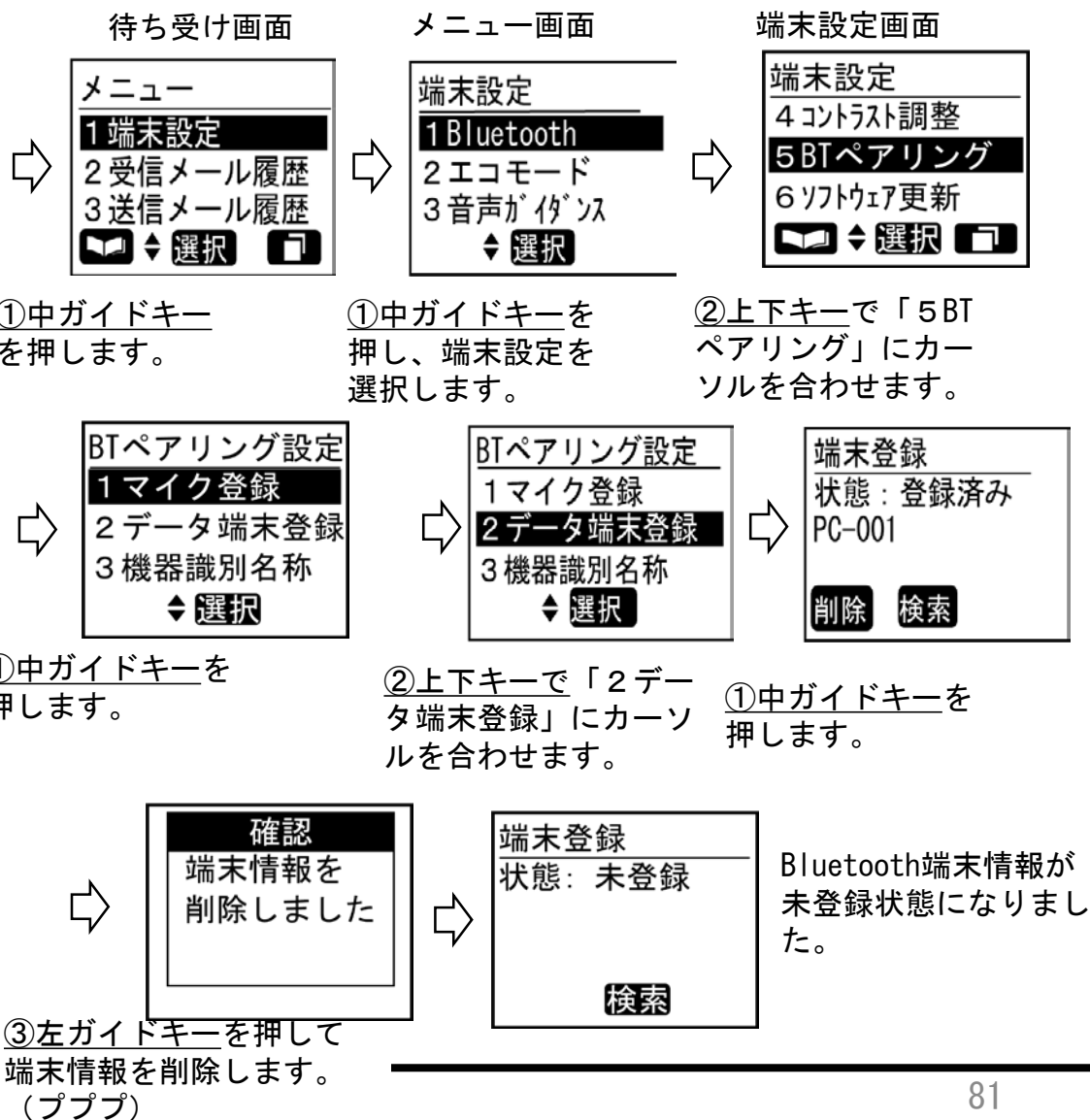
③テンキーで
認証コードを
入力します。

①中ガイドキー
を押します。

3-9 Bluetoothデータ端末情報の削除

[通常操作]

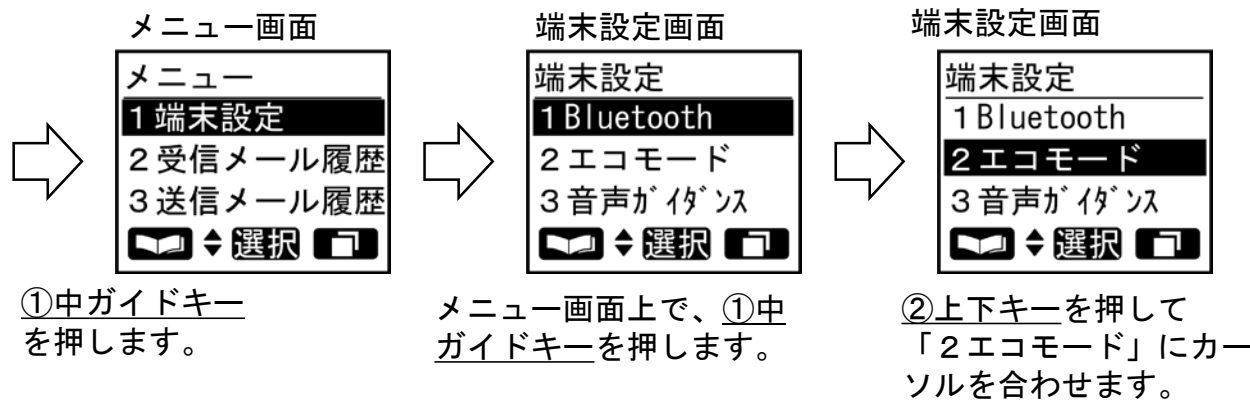
- Bluetoothのデータ端末情報の削除は、端末登録画面から③左ガイドキーで行います。



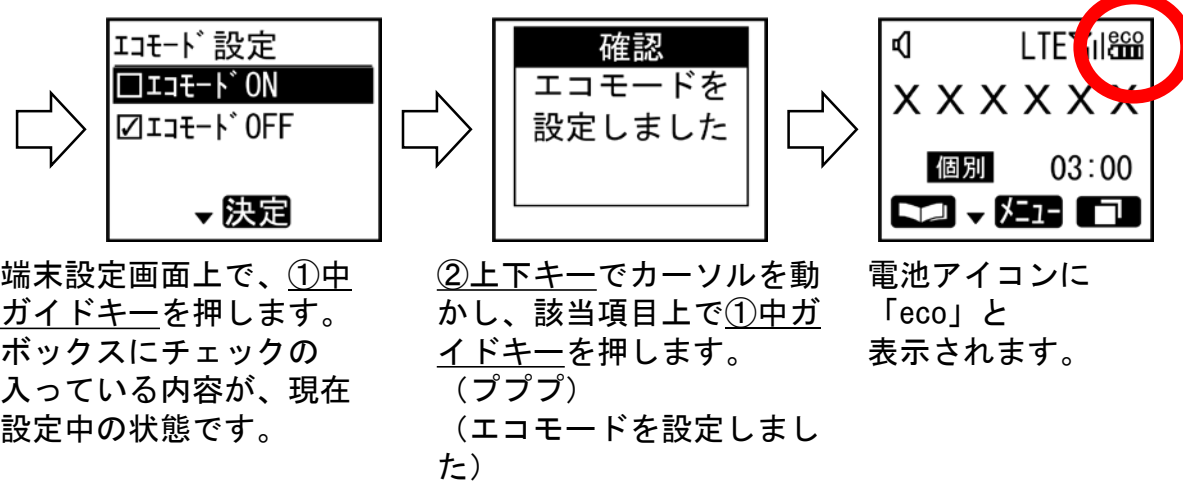
3-10 エコモードを設定する

[通常操作]

- エコモードのON/OFFを設定します。
- ①中ガイドキーと②上下キーで行います。



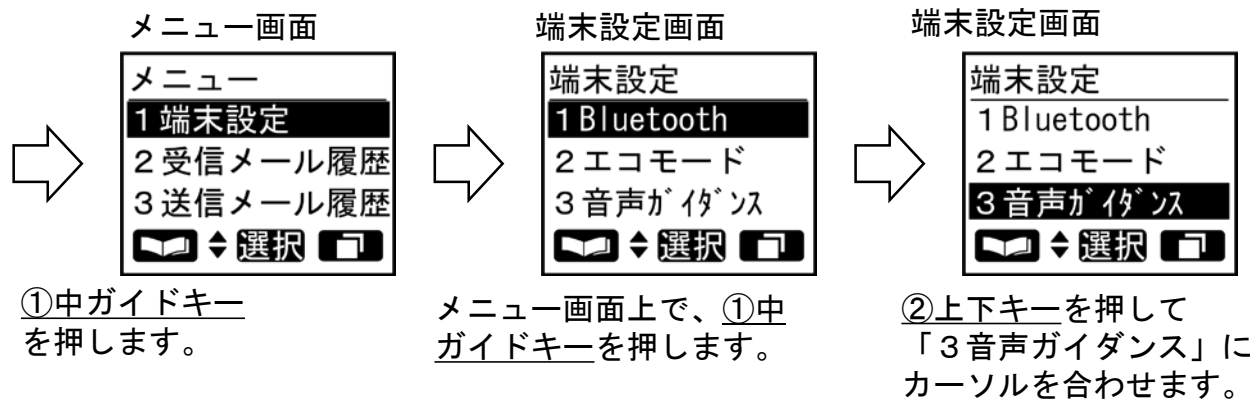
メニュー画面上でテンキーの1を押すと、端末設定画面を表示します。
端末設定画面でテンキーの2を押すと、エコモード設定画面を表示します。



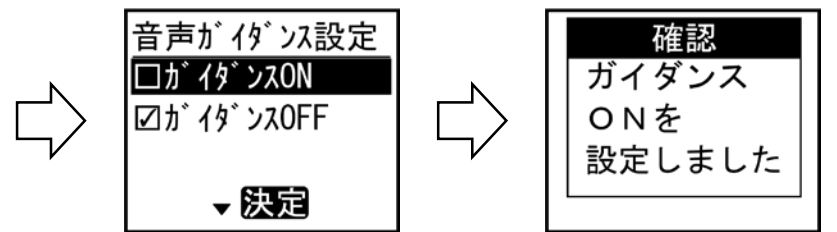
3-11 音声ガイダンスを設定する

[通常操作]

- 音声ガイダンスのON/OFFを設定します。
- ①中ガイドキーと②上下キーで行います。



メニュー画面上でテンキーの1を押せば、直接端末設定画面へ飛びます。
端末設定画面でテンキーの3を押せば、直接音声ガイダンス設定画面へ飛びます。



端末設定画面上で、①中ガイドキーを押します。ボックスにチェックの入っている内容が、現在設定中の状態です。

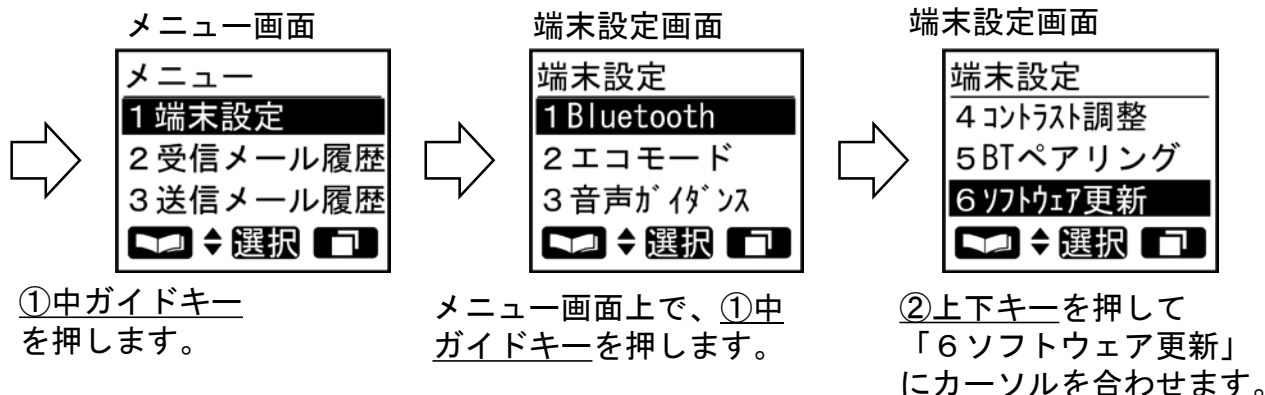
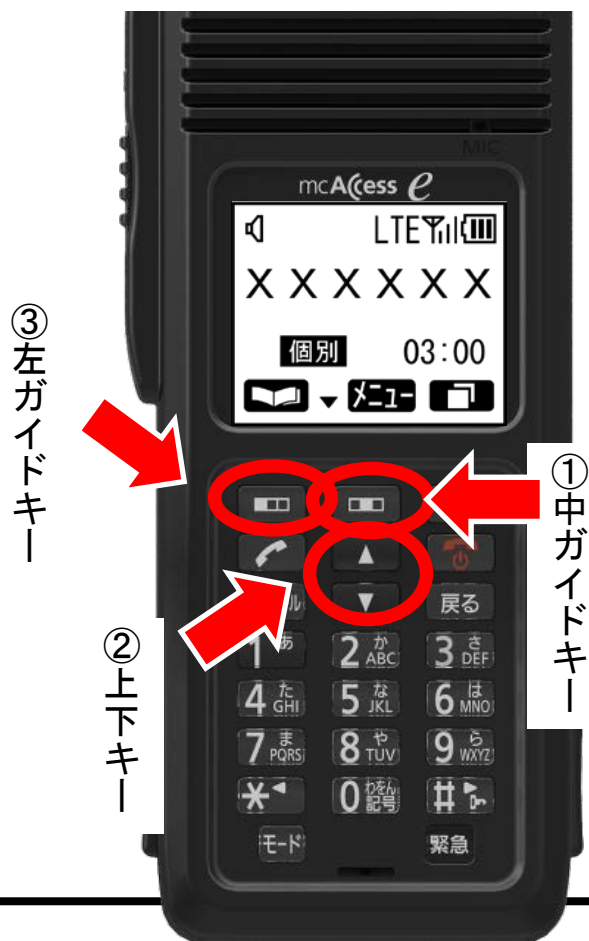
②上下キーでカーソルを動かし、該当項目上で①中ガイドキーを押します。(ポップ)

4 保守編

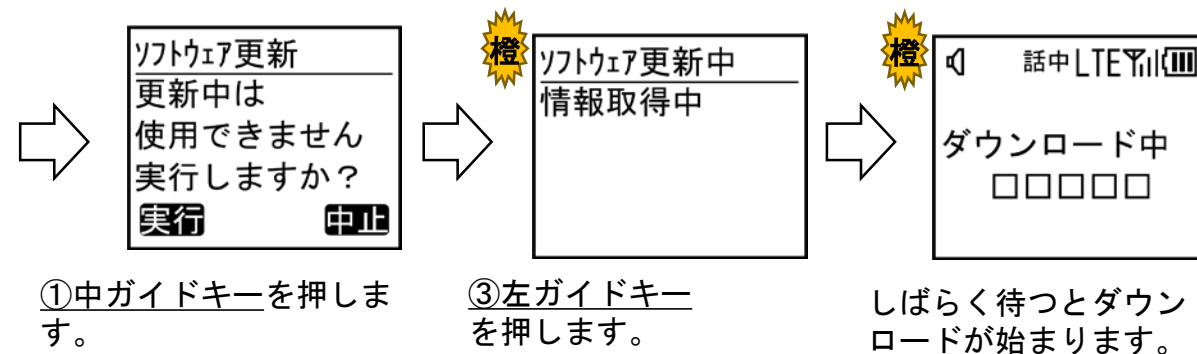
4-1 ソフトウェアを更新する(1)

[保守操作]

- ソフトウェアの更新を行います
- ①中ガイドキーと②上下キーと③左ガイドキーで行います。



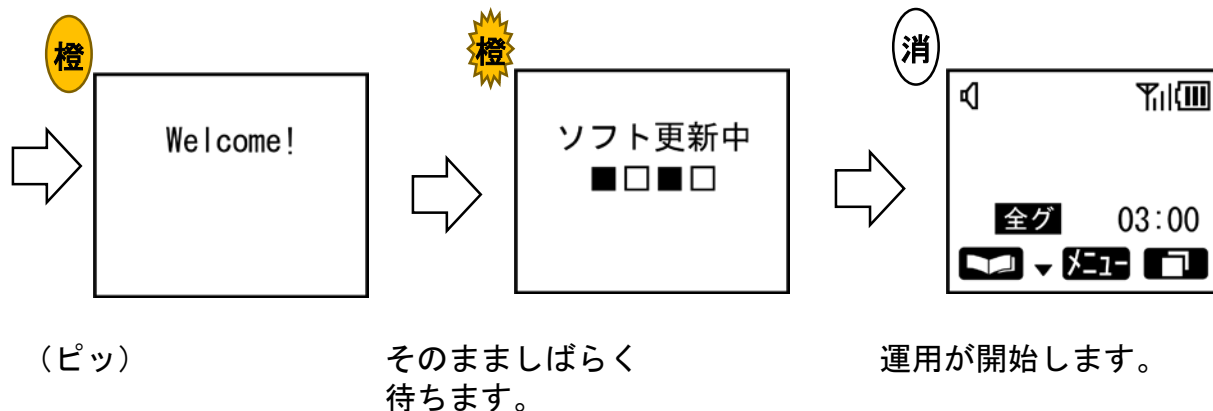
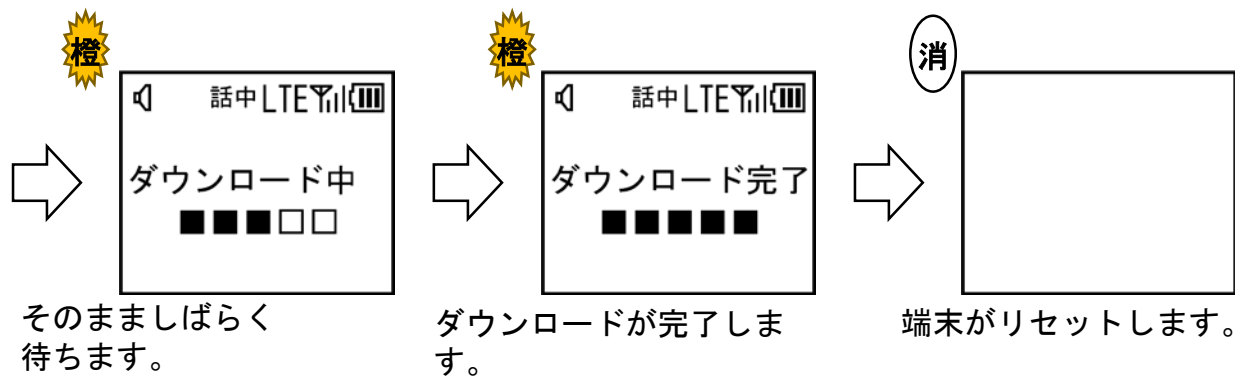
メニュー画面上でテンキーの1を押せば、直接端末設定画面へ飛びます。
端末設定画面でテンキーの6を押せば、直接ソフトウェア更新画面へ飛びます。



(次頁へ続く)

4-1 ソフトウェアを更新する(2)

[保守操作]



ソフトウェア情報
最新です
MK-XXXXXXXX

確認

ソフトウェア情報
情報取得失敗
MK-XXXXXXXX

確認

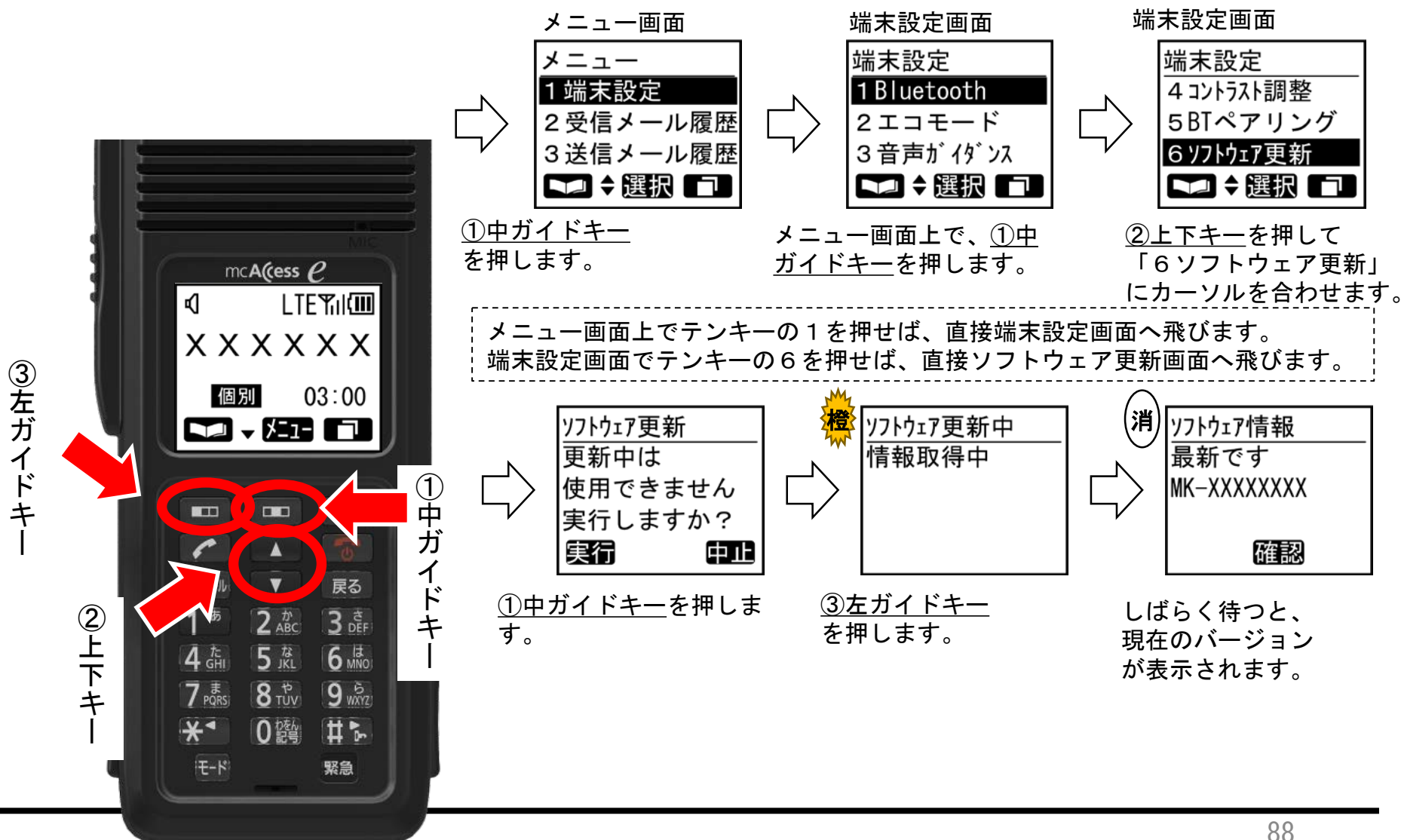
確認
電池残量少
ソフト更新
できません

- 最新のソフトウェアで運用しているときには「最新です MK-XXXXXXXX」と表示されます。
- ソフトウェア更新サーバと接続できないときには「情報取得失敗 MK-XXXXXXXX」と表示されます。
- ソフトウェアダウンロード後の起動時に、電池残量が少ない場合には「電池残量少 ソフト更新できません」と表示されます。
この場合は、動作中のソフトウェアで運用を続けます。
電池を十分に充電してから電源をOFF→ONし、ソフトウェアを更新してください。

4-2 ソフトウェアバージョンを確認する(1)

[保守操作]

- ソフトウェアバージョンを確認します。
- ①中ガイドキーと②上下キーと③左ガイドキーで行います。



ソフトウェア情報
情報取得失敗
MK-XXXXXXXX

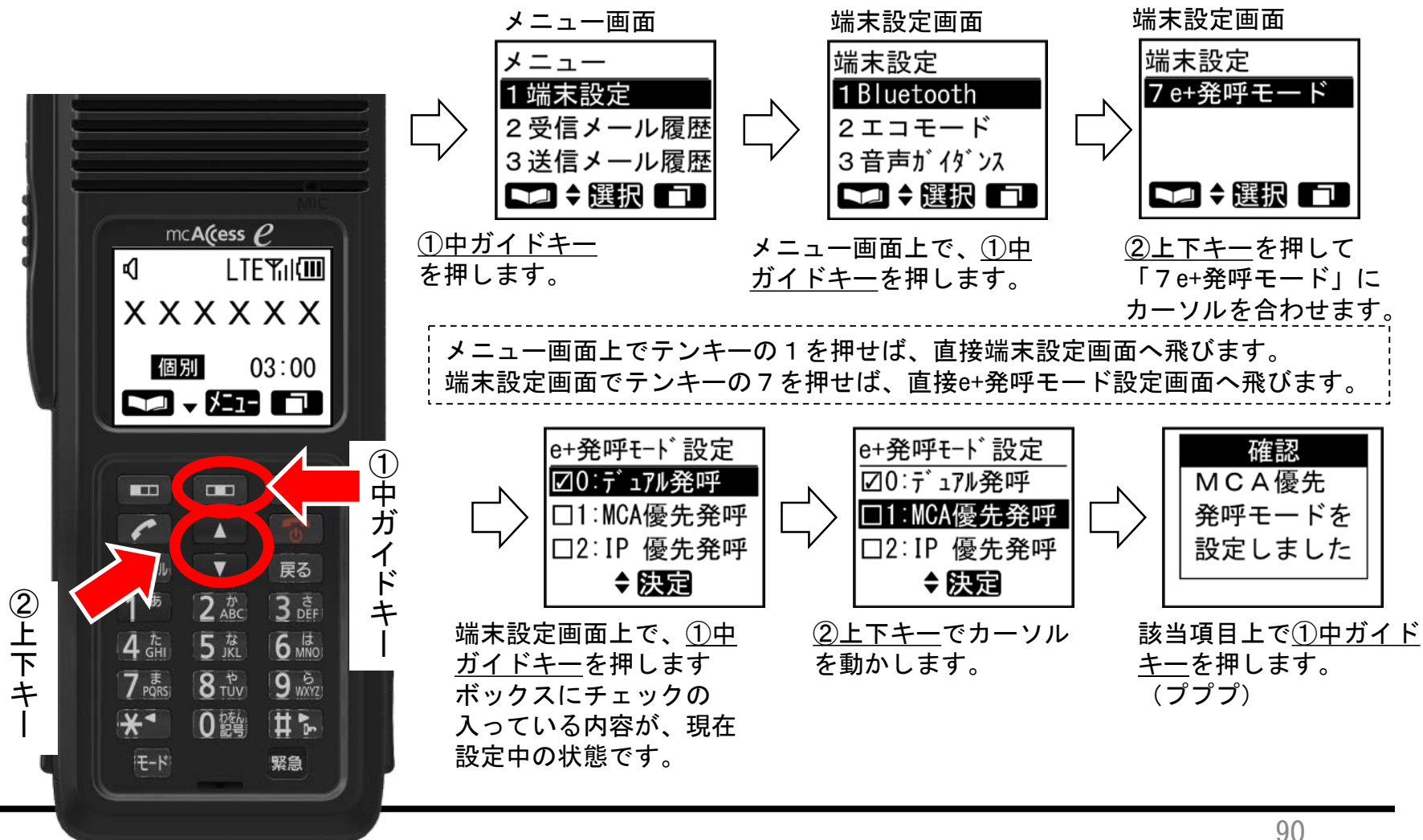
確認

- 最新ソフトの有無をサーバに確認します。
最新ソフトが存在する場合には、ソフト更新が始まります。
- 最新ソフト有無の情報取得に失敗した場合は
「情報取得失敗 MK-XXXXXXXX」と表示され、
端末にインストール済みのソフトウェアバージョンが確認
できます。

4-3 e+発呼モードを設定する

[保守操作]

- e+発呼モードを設定します。この操作はシステム設定でe+モード変更可否が可設定の場合のみ可能です。
- ①中ガイドキーと②上下キーで行います。



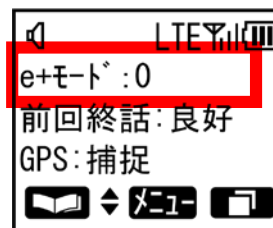
4-4 e+発呼モードを確認する

[保守操作]

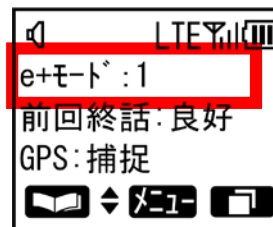
- e+発呼モードの状態を確認します。
- 待ち受け画面で①下キーを繰り返し押しします。



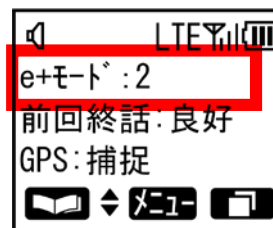
この画面が
表示されるまで
①下キーを
繰り返し押します。



e+モード:0
デュアル発呼モードで動作しています。



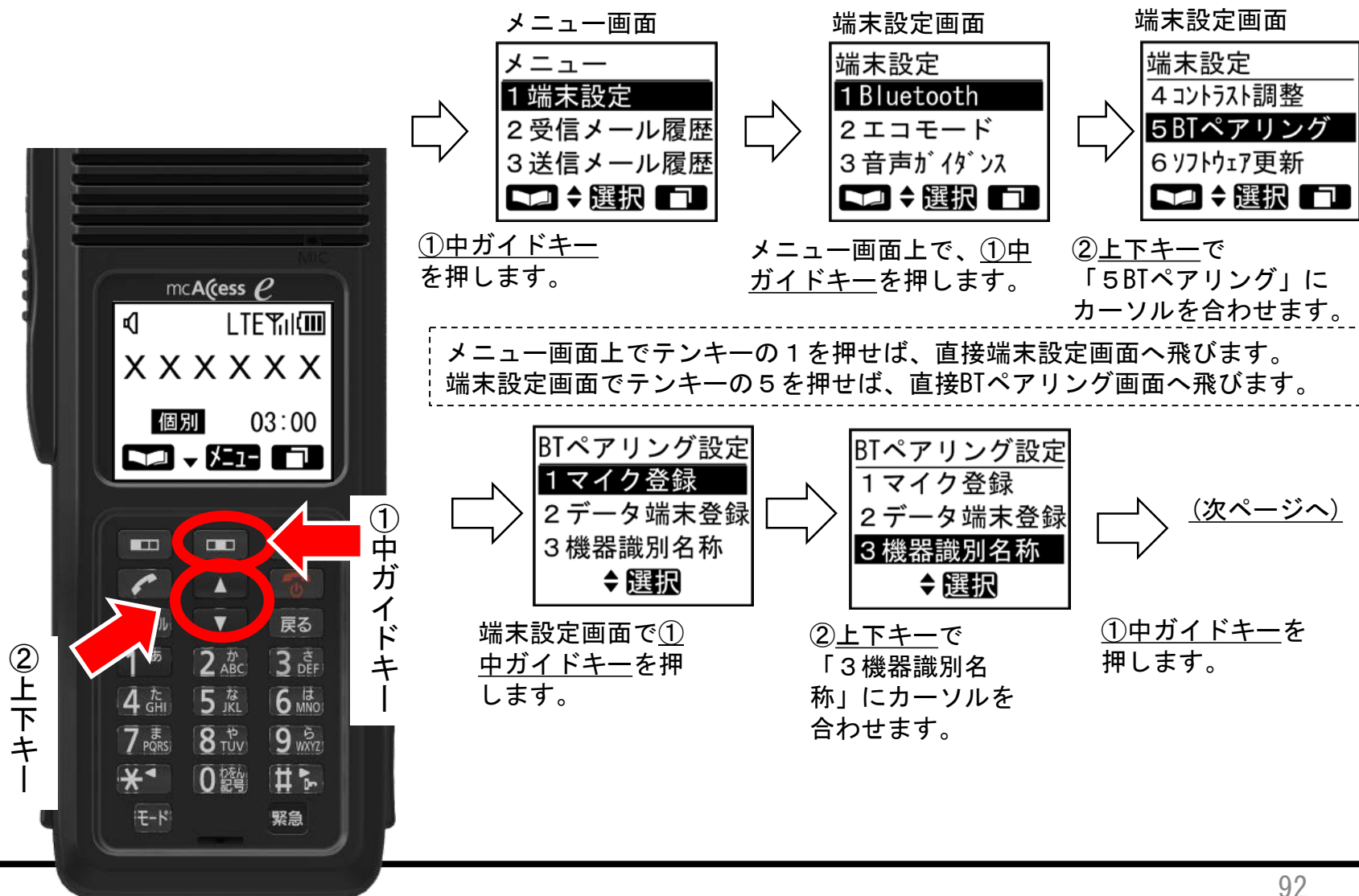
e+モード:1
MCA優先発呼モードで動作しています。



e+モード:2
IP優先発呼モードで動作しています。

4-5 Bluetoothモジュールの状態を確認する(1) [保守操作]

- BluetoothのON/OFFに失敗する場合などに、Bluetoothモジュールの状態を確認してください。



4-5 Bluetoothモジュールの状態を確認する(2)

[保守操作]

機器識別名称
EK-6180
確認

「故障」表示無し時：
Bluetoothモジュールは正常に稼働しています。

機器識別名称
EK-6180
故障
確認

「故障」表示時：
Bluetoothモジュールの故障を検知しました。

5 付録

無線機・移動局

移動局	車載型無線装置／携帯型無線装置を使用する移動が前提の無線局
管理移動局／ 指令局	営業所などの固定された場所で使用し、通信の管理を行う無線局

通信モード

個別通信	1対1の通信
グループ通信	同一ユーザー内の無線局を特定のグループに分けて行う通信
全グループ通信	同一ユーザー内の無線局が一斉に行う通信
全グループ一斉通信	同一ユーザー内の全通信を強制終了し、管理移動局が優先的に行う全グループ通信
システム一斉通信	移動無線センターからの通信

通話モード

無線機モード	従来の無線機のように、プレストークによる交互の送受話を行う
電話機モード	携帯電話のように耳にあてて使用し、送受話を行う

通信形態

単信通信	プレストークスイッチを押して片方向ずつ通話を行う通信形態
複信通信 (※MCA通信のみ)	携帯電話と同様に、プレストークスイッチを押さなくても双方向通話が行える通信形態
半複信通信	発信側は複信、着信側は単信となる通信形態
広域通信	ゾーン(通話範囲)やユーザーを切り替えて行う広範囲な通信形態

ユーザー

ユーザー	同一のユーザーコードを持つ利用局
ユーザー切替	自局が所属しているユーザーの切り替え

グループ

グループ	ユーザー内をいくつかに分けた小団体
所属グループ	自局に着信するグループ番号

ゾーン

ゾーン	1 つの中継局下の通話可能範囲
自ゾーン	現在自局が位置するゾーン
ホームゾーン	自局が通常所属しているゾーン
広域接続	現在自局が位置するゾーン以外のゾーンと接続し、通話やデータ伝送を行う広範囲な通信
ゾーン切替	自ゾーンの切り替え

その他

メール	文字メッセージを送信する機能
セレコール (選択呼出)	特定の相手局のみを呼び出し、呼び出された相手局では画面に呼び出し元の個別番号が表示継続する機能

5-2 桁数・件数一覧(1)

[付録]

No.	設定項目	有効範囲	登録数	備考
1	移動局番号 (個別番号)	5桁(1~16383) 4桁(1~1023)	—	
2	グループ番号	3桁(1~999)	—	着信グループ番号登録最大101件(待ち受け可能なユーザーが複数ある場合は、重複して設定可) 設定により待ち受け中のグループ番号1件のみを着信グループに変更可(グループ発呼規制時、グループ番号未設定時は、着信グループ無しとなる)
3	電話番号 (2ndダイヤル)	15桁以内	100件	待ち受け中は15桁、通信中は12桁まで入力可
4	相手局名称	全角6文字以内	500件	カナ登録の先頭文字が「`」、「°」、「-」は登録無効
	よみかな	半角カタカナ、英数字 12文字以内		
5	再発呼移動局番号	移動局番号に準拠	発呼：10件 着呼：10件	リダイヤル/ コールバック時に表示される番号及び名称
6	再発呼グループ番号	グループ番号に準拠		
7	再発呼電話番号	電話番号に準拠		
8	再発呼相手局名称	相手局名称に準拠		
9	ユーザー番号	半角7または8桁	24件	
	ユーザー名称	全角5文字以内		
10	無線ゾーン番号	半角4桁-3桁	300件	
	無線ゾーン名称	全角5文字以内		
11	状態通知内容	全角5文字以内	20件	自局の状態を示す定型文
12	定型文内容	全角12文字以内	30件	送信メール作成用の定型メッセージ

5-2 桁数・件数一覧(2)

[付録]

No.	設定項目	有効範囲	登録数	備考
13	受信メール内容	指令局からの受信時：全角 96文字以内[メール内容の 前に受付番号を表示：半角 3桁(1~255)] 移動局からの受信時：全角 24文字以内	10件	電話通信中の電話接続用指令局からのメール受信時は、メール内容の前に、送信局の状態を表示
14	送信メール内容	全角24文字以内	10件	
15	周波数番号	1~399	1件	

5-3 鳴音一覧(1)

[付録]

No.	鳴音名称	音種	鳴音条件	ミュート 対象外
1	キー操作音	ピッ	キーの入力が有効のとき	
2	キー誤操作音	ピー	キーの入力が無効のとき	
3	設定完了音	プププ	設定が確定したとき	
4	全グループ斉着信音	ピーポーピーポー	全グループ斉通信が着信したとき	
5	個別複信着信音	プルルプルル… (連続)	個別複信通信または電話通信が着信したとき	
6	個別単信着信音	ピッポー	個別単信通信が着信したとき	
7	発呼失敗音	プッププッ	発信が失敗したとき(相手局が話中のときは除く)	
8	ビジートーン	プープープープー	個別・電話発信の相手局が話中だったとき	
9	通話指示音	ピッピー	発信が成功したとき	
10	送信権獲得音	ピッ	プレストークスイッチを押したときに自局が送信権を獲得できたとき	
11	送信権獲得失敗音	プッププッ	プレストークスイッチを押したときに自局が送信権を獲得できなかったとき	
12	終話予告音	ピッ	通話時間が残り10 秒のとき	
13	終話音	プー	終話のとき	
14	セレコール受信音	ピッポーピッポーピッポー	自局宛セレコールを受信したとき	
15	メール着信音	ピッポーピッポーピッポー	メールを受信したとき	
16	送信成功音	ピッポー	メール・セレコール・取消セレコール送信に成功したとき	
17	送信失敗音	ピー	メール・セレコール・取消セレコール送信に失敗したとき	
18	システム一斉着信音	ピーポーピーポー	システム一斉通信が着信したとき	
19	システム一斉通知受信音	ピッ	自局が他の通信中にシステム一斉通知を受信したとき	
20	予約音	ピーポーパー	発呼による予約状態に移行したとき	

5-3 鳴音一覧(2)

[付録]

No.	鳴音名称	音種	鳴音条件	ミュート対象外
21	ユーザー設定催促音	ピ—— (2 秒)	移動局情報を更新するときにユーザー選択ができないとき	ミュート対象外
22	温度上昇警告音	ピポパポピポパポ	無線装置本体の温度が上昇したとき	ミュート対象外
23	電池残量警告音	ピー (1 秒)	電池残量がごくわずか (電断寸前) になったとき	ミュート対象外
24	障害発生音	ピ———— (5 秒)	障害が発生したとき	ミュート対象外
25	緊急状態音	ピラピラピラピラ… (連続)	緊急操作を行ったとき	
26	電源投入音	ピッ	電源を入れたとき	
27	電断音	ピッ	電源を切ったとき	

・電源投入音以外の鳴音は、設定によって音量の大小を選択することができます。

5-4 音声ガイダンス一覧

[付録]

状況	音声ガイダンス
発呼後、予約時	回線が混みあっています（繰り返し）
モード変更したとき（全グループ齊）	全グループ齊モードです
モード変更したとき（全グループ）	全グループモードです
モード変更したとき（グループ）	グループモードです
モード変更したとき（個別）	個別モードです
モード変更したとき（電話）	電話モードです
緊急状態のとき	緊急です！緊急です！（繰り返し）
ミュートを解除したとき	ミュートを解除しました
エコモードに設定したとき	エコモードを設定しました
エコモードを解除したとき	エコモードを解除しました
電池残量が少なくなったとき	充電してください
Bluetoothマイクの接続断を検知したとき	外部機器との接続が切れました
待ち受け中の音量調整時 1	音量は1（いち）です
待ち受け中の音量調整時 2	音量は2（に）です
待ち受け中の音量調整時 3	音量は3（さん）です
待ち受け中の音量調整時 4	音量は4（よん）です
待ち受け中の音量調整時 5	音量は5（ご）です
待ち受け中の音量調整時 6	音量は6（ろく）です